公表日　　：2013年10月31日
投資家説明会：2013年11月　1日

2013年度 第2四半期
決算説明会資料

財務責任者
見浪　直博

※本資料に含まれる数値は各事業の業績を分かりやすく説明するために使用しており、
　財務諸表の数値と異なる場合があります。
※各指標の注記は、slide33をご覧下さい。

ひとの
ときを、
想う。

当資料取扱上の注意点

将来に関する記述等についてのご注意

本資料には、当社又は当社グループの業績に関連して将来に関する記述を含んでおります。かかる将来に関する記述は、「考えています」「見込んでいます」「予期しています」「予想しています」「予見しています」「計画」「戦略」「可能性」等の語句や、将来の事業活動、業績、事象又は条件を表す同様の語句を含むことがあります。将来に関する記述は、現在入手できる情報に基づく経営者の判断、予測、期待、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。これらの記述ないし事実又は前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もなく、当社としてその実現を約束する趣旨のものでもありません。また、かかる将来に関する記述は、さまざまなリスクや不確実性に晒されており、実際の業績は、将来に関する記述における見込みと大きく異なる場合があります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます（なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません）。

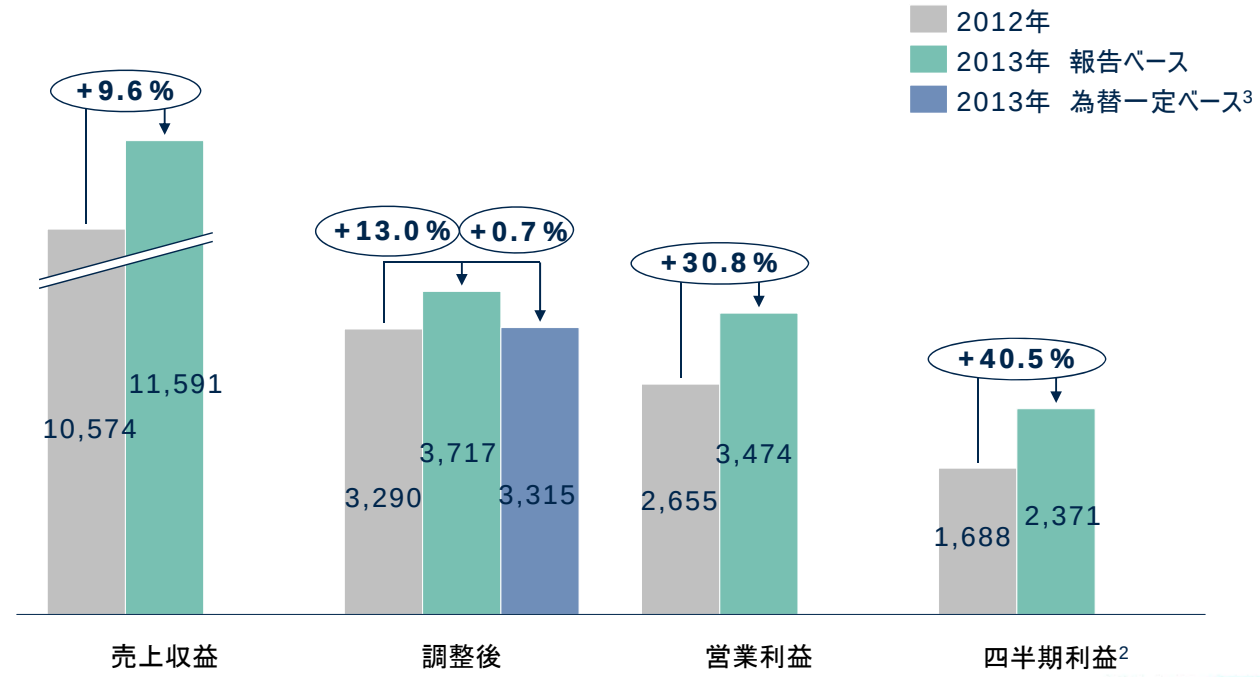
（1）喫煙に関する健康上の懸念の増大
（2）たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更（増税、たばこ製品の販売、国産葉たばこの買入れ義務、包装、ラベル、マーケティング及び使用に関する政府の規制等）、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
（3）国内外の訴訟の動向
（4）国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
（5）国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
（6）市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化及び需要の減少
（7）買収やビジネスの多角化に伴う影響
（8）国内外の経済状況
（9）為替変動及び原材料費の変動
（10）自然災害及び不測の事態等

全社実績

全社:
全ての指標で前年同期を上回り、全社業績予想に対して順調な進捗

主要指標実績
(2012年度第2四半期　vs　2013年度第2四半期)

(億円)

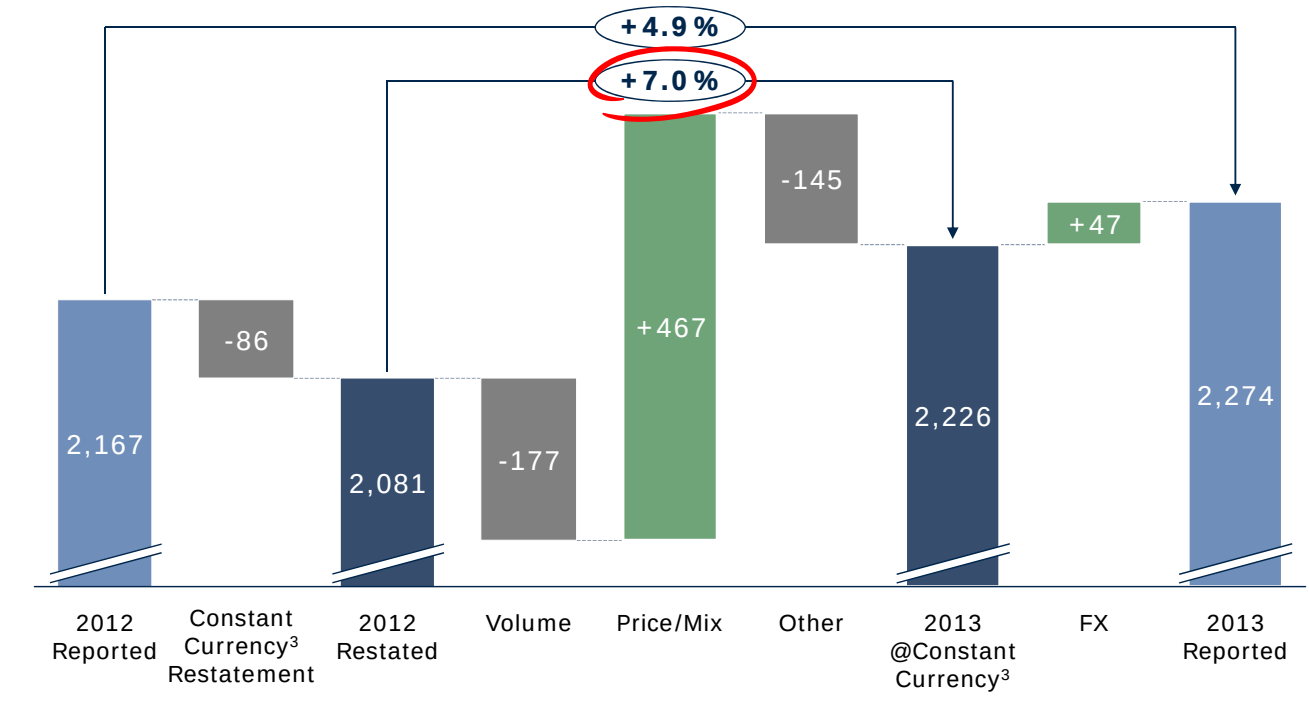


事業別実績・見込

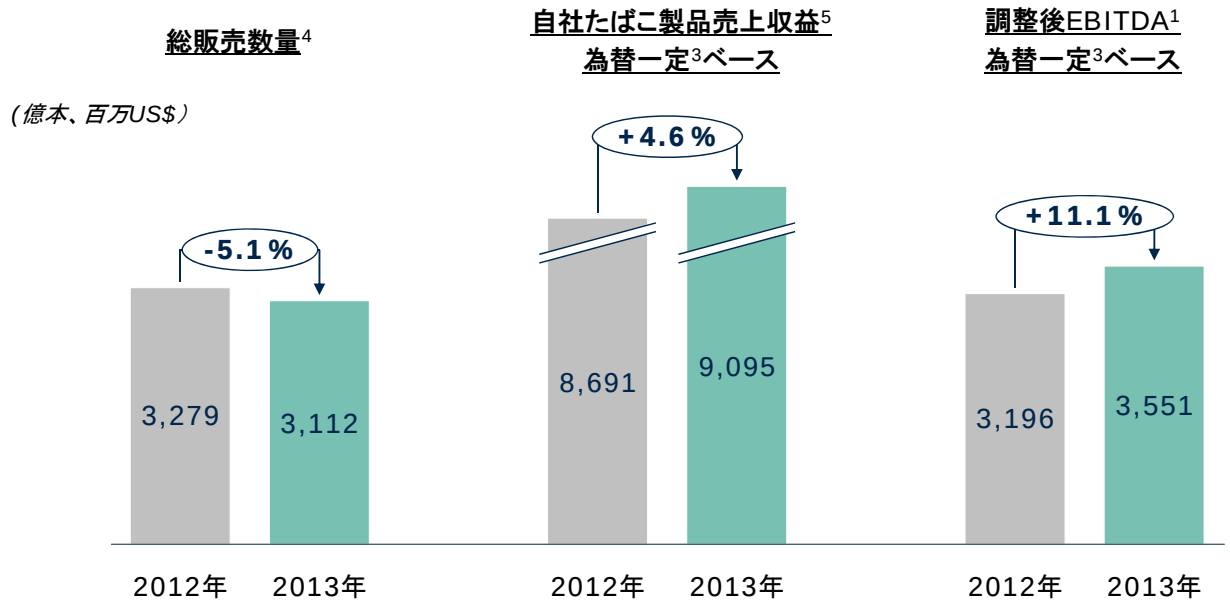
海外たばこ事業(1-6月期):
単価上昇効果により、為替一定ベース調整後EBITDAは7.0%伸長

調整後EBITDA[1]

(百万US$)



JT International(1-9月期速報):
為替一定ベース調整後EBITDAは単価上昇効果をドライバーとした増収により、11.1%成長



JT International(1-9月期速報):
S&WE、N&CEクラスターにおいて販売数量の成長率が改善

GFB販売数量成長率

	2013			
	1-3月	4-6月	7-9月	1-9月
JTI	-4.5%	-0.3%	-1.8%	-2.1%
S&WE	-7.7%	-8.6%	-2.1%	-6.1%
N&CE	-0.9%	5.2%	10.5%	5.1%
CIS+	0.8%	3.3%	-2.6%	0.5%
RoW	-11.4%	-2.4%	-4.6%	-6.1%

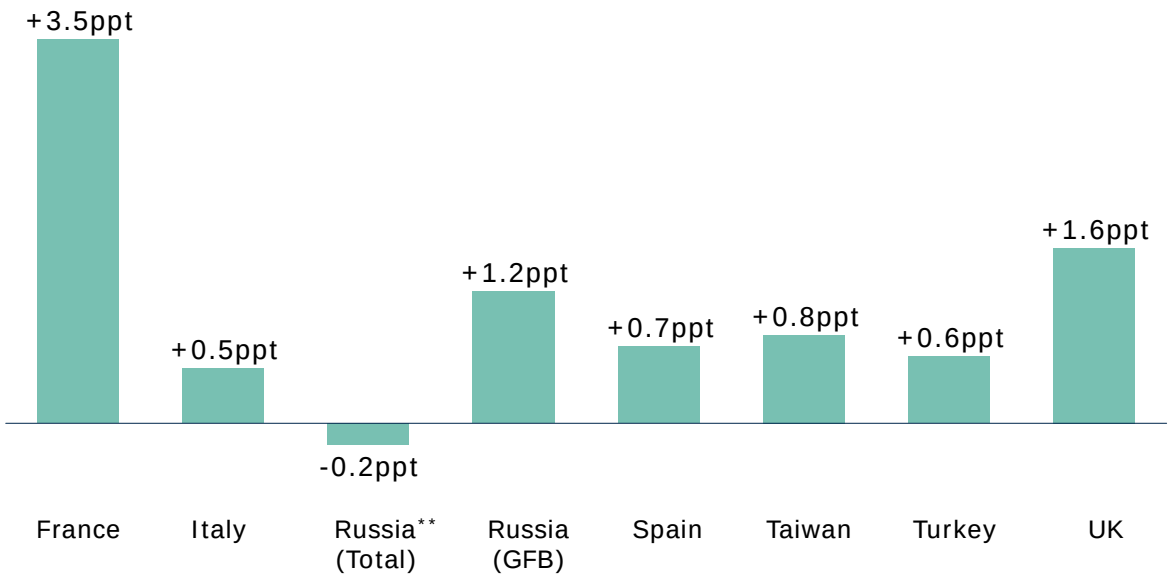
総販売数量[4]成長率

	2013			
	1-3月	4-6月	7-9月	1-9月
JTI	-6.4%	-3.9%	-5.1%	-5.1%
S&WE	-2.0%	-3.4%	-0.4%	-1.9%
N&CE	-3.0%	1.5%	5.4%	1.4%
CIS+	-5.6%	-5.7%	-7.5%	-6.3%
RoW	-11.0%	-3.2%	-7.8%	-7.3%

Note:全て対前年同期の数値

JT International マーケットシェア：
ほぼすべての主要市場で引き続きシェア伸長

主要市場シェア*増減
(2012年9月vs2013年9月)

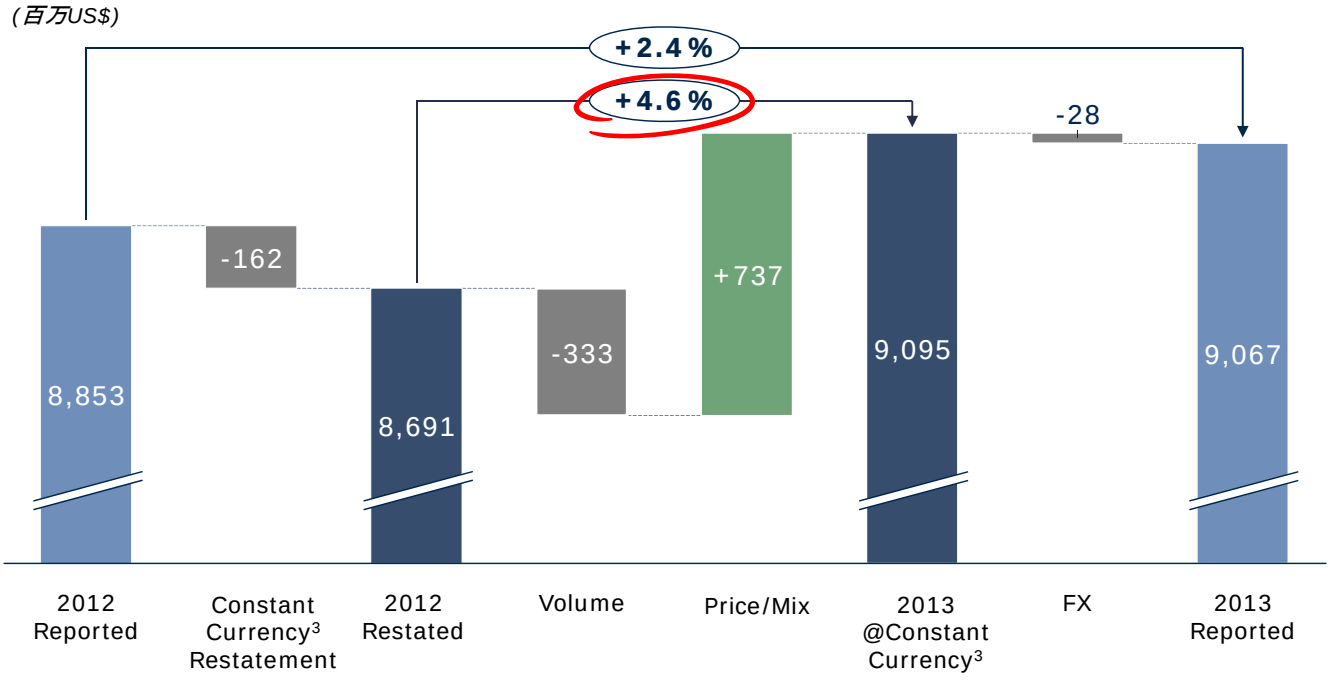


*12ヶ月移動平均
**Share of Valueは0.4ppt伸長
Source: Nielsen, Logista, Altadis, IRI

ひとの ときを、想う。 JT

JT International(1-9月期速報)：
単価上昇効果により、為替一定ベース自社たばこ製品売上収益は4.6%成長

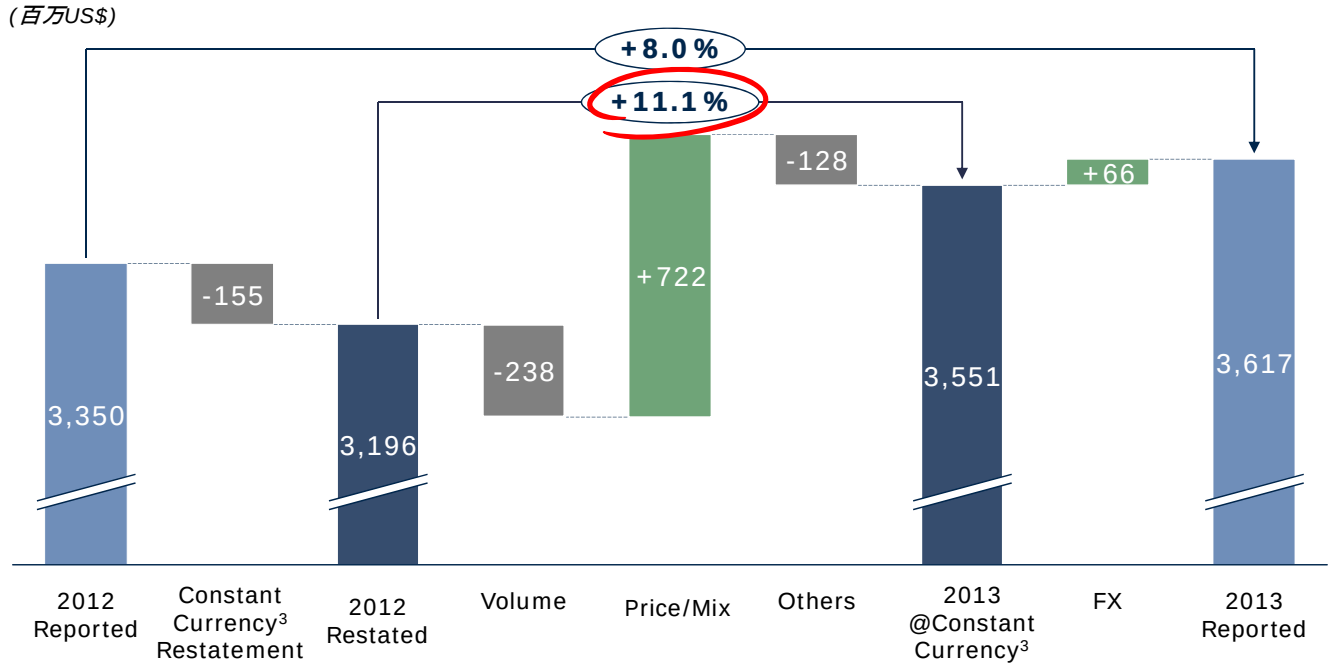
自社たばこ製品売上収益[5]



ひとの ときを、想う。 JT

JT International(1-9月期速報):
為替一定ベース調整後EBITDAは二桁成長を実現

調整後EBITDA[1]

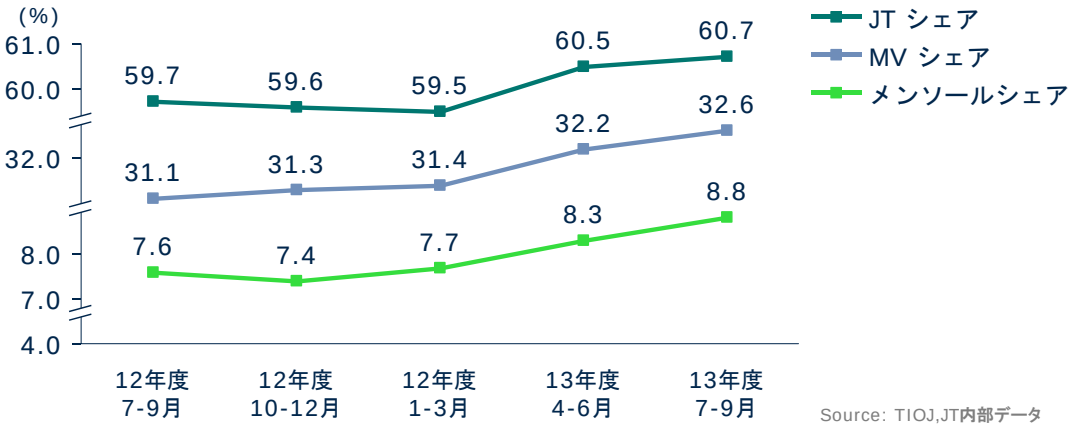


海外たばこ事業(見込):
為替一定ドルベース調整後EBITDA見込は変更なし

(億本, 百万US$, %)	修正見込	当初見込差異	対前年増減率
総販売数量[4]	4,170	-150	-4.5%
GFB販売数量	2,650	-80	-1.4%
為替一定ベース[3]			
自社たばこ製品売上収益[5]	12,250	-300	+5.1%
調整後EBITDA[1]	4,630	-	+11.7%
報告ベース			
自社たばこ製品売上収益[5]	12,150	-300	+2.8%
調整後EBITDA[1]	4,630	-	+7.7%
円ベース(億円)			
自社たばこ製品売上収益[5]	11,780	-40	+24.9%
調整後EBITDA[1]	4,490	+90	+30.8%

国内たばこ事業：
メンソール製品が牽引しMEVIUSシェア伸長継続

JTシェア/MEVIUSシェア/メンソールシェア四半期別推移



Source: TIOJ,JT内部データ

MEVIUSの商品施策

■10月上旬 「MEVIUS プレミアムメンソール スプレッド」 3銘柄同時発売
■11月上旬 「MEVIUS インパクトワン100's ボックス」 デザインリニューアル

注力ブランド商品施策

■8月下旬 「ピアニッシモ アイシーン クリスタ」「ピアニッシモ アイシーン グラシア」 デザインリニューアル
■12月上旬 「セブンスター リアルリッチ」「セブンスター リアルスモーク」 同時発売

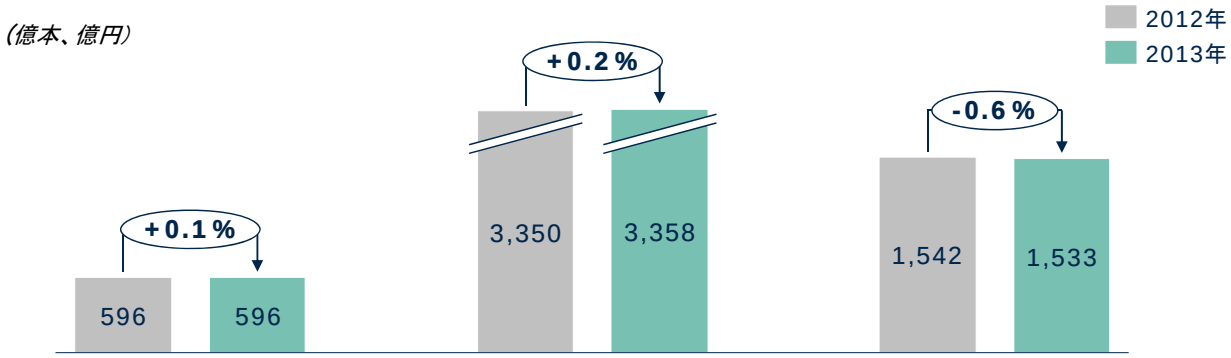
その他商品施策

■11月上旬 「ゼロスタイル スティックス」 4品同時発売

国内たばこ事業：
総需要が減少する中、シェア伸長により販売数量は対前年フラット

【2013年度第2四半期 実績】

販売数量[6]　自社たばこ製品売上収益[7]　調整後EBITDA[1]



【2013年度 見込】

(億本、億円)	見込	当初見込差異	対前年増減
販売数量[6]	1,190	-	+2.4%
自社たばこ製品売上収益[7]	6,690	-	+2.3%
調整後EBITDA[1]	2,910	-	+3.4%

医薬事業：
既導出品の開発進展、販売拡大が収益改善に貢献

売上収益

JT

- 既導出品の開発進展に伴う一時金収入及び販売拡大によるロイヤリティ収入増

鳥居薬品

- レミッチカプセル、ツルバダ配合錠の伸長

調整後EBITDA

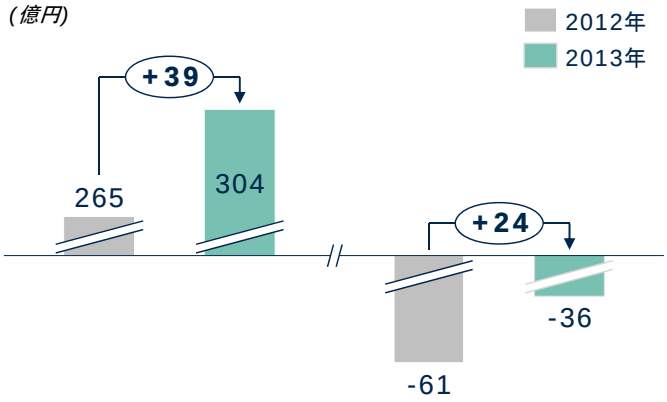
- 売上収益増により、24億円の改善

開発の状況

- 腎性貧血治療薬「JTZ-951」：Phase2へ移行（国内）

【2013年度第2四半期　実績】

売上収益　　調整後EBITDA[1]



【2013年度　修正見込】

(億円)	修正見込	当初見込差異	対前年増減
売上収益	**585**	-10	+53
調整後EBITDA[1]	**-110**	-5	+17

ひとのときを、想う。

飲料事業：
「桃の天然水」が伸長、「ルーツ」ブランド強化に向けた取組みも着実に展開

売上収益

- 桃の天然水が伸長した一方、自販機販路における減収影響

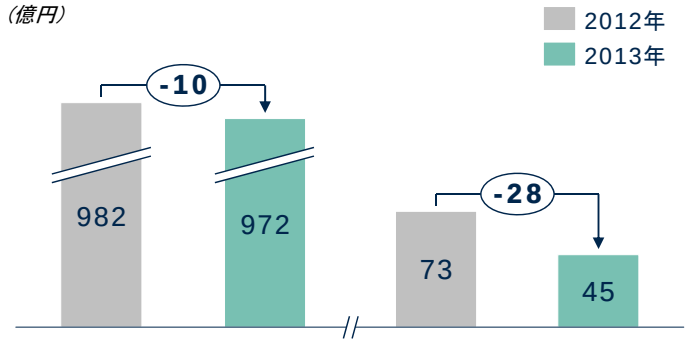
調整後EBITDA

- 質の高い自販機オペレーションの更なる強化やブランド力強化に向けた費用の増加等



【2013年度第2四半期　実績】

売上収益　　調整後EBITDA[1]



【2013年度　見込】

(億円)	見込	当初見込差異	対前年増減
売上収益	1,870	-	+15
調整後EBITDA[1]	105	-	-19

ひとのときを、想う。

加工食品事業:
高付加価値商品の展開を着実に進め、計画達成を目指す

売上収益

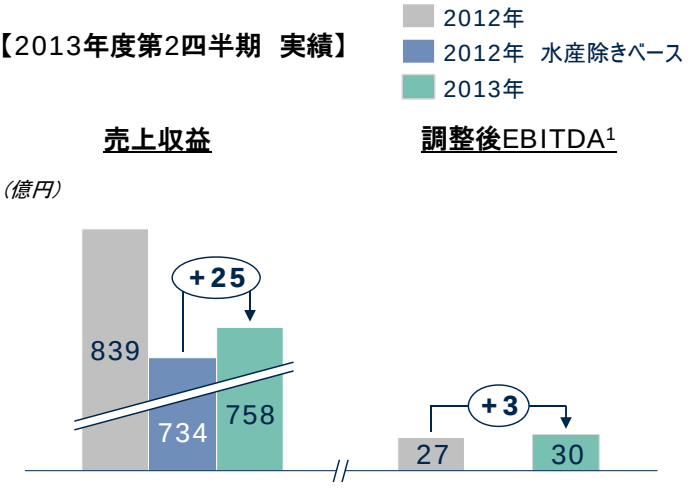
- ステープルの伸長により、水産事業除きのトップラインは成長

調整後EBITDA

- 円安影響によるコスト増があるものの、ステープルのトップラインが成長



【2013年度第2四半期　実績】



【2013年度　見込】

(億円)	見込	当初見込差異	対前年増減
売上収益	1,590	-	-97
調整後EBITDA[1]	95	-	+21

ひとの　とき を、　想う。

全社業績見込

ひとの　とき を、　想う。

全社業績見込：
為替一定ベース調整後EBITDAの通期見込は変更なし

(億円, %)	修正見込	当初見込差異	対前年増減率
売上収益	**23,680**	**-**	**+11.7%**
調整後EBITDA[1]	**7,380**	**+80**	**+18.7%**
営業利益	**6,320**	**+160**	**+18.7%**
当期利益[2]	**4,150**	**-**	**+20.8%**
FCF	**2,800**	**-**	**-11.4%**
為替一定ベース			
調整後EBITDA[1]	**6,600**	**-**	**+6.1%**

	修正見込レート	当初見込レート
JPY/USD	**97.00**	**95.00**

終わりに

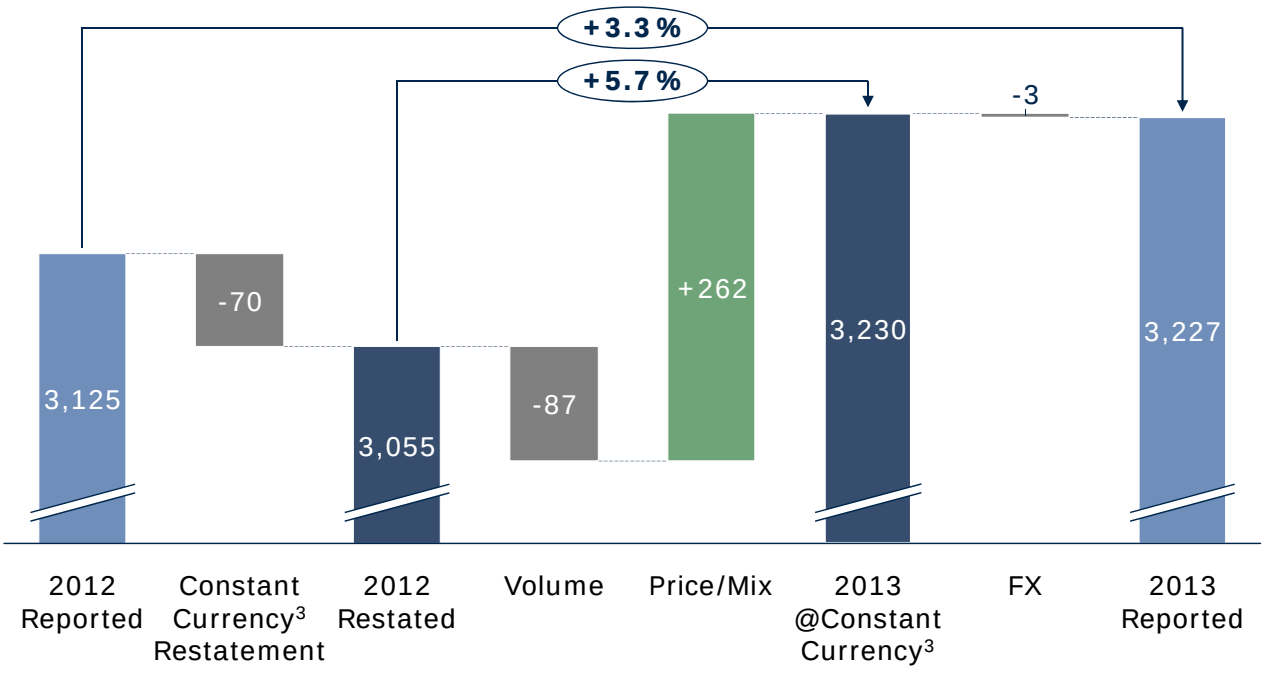
- 為替一定ベース調整後EBITDA成長見込は対前年＋6.1％
- 海外たばこ事業は、販売数量見込を下方修正するものの、利益目標達成に向けて確かな手ごたえ
- 国内たばこ事業は、引き続きMEVIUSを含む注力ブランドのエクイティ強化によるシェア拡大に注力
- 医薬、飲料、加工食品事業についても、通期見込達成に向け、質の高いトップライン成長に取り組む
- 株主還元目標に変更はなく、当初目標の連結配当性向40％達成を目指す

補足資料

自社たばこ製品売上収益

自社たばこ製品売上収益[5]

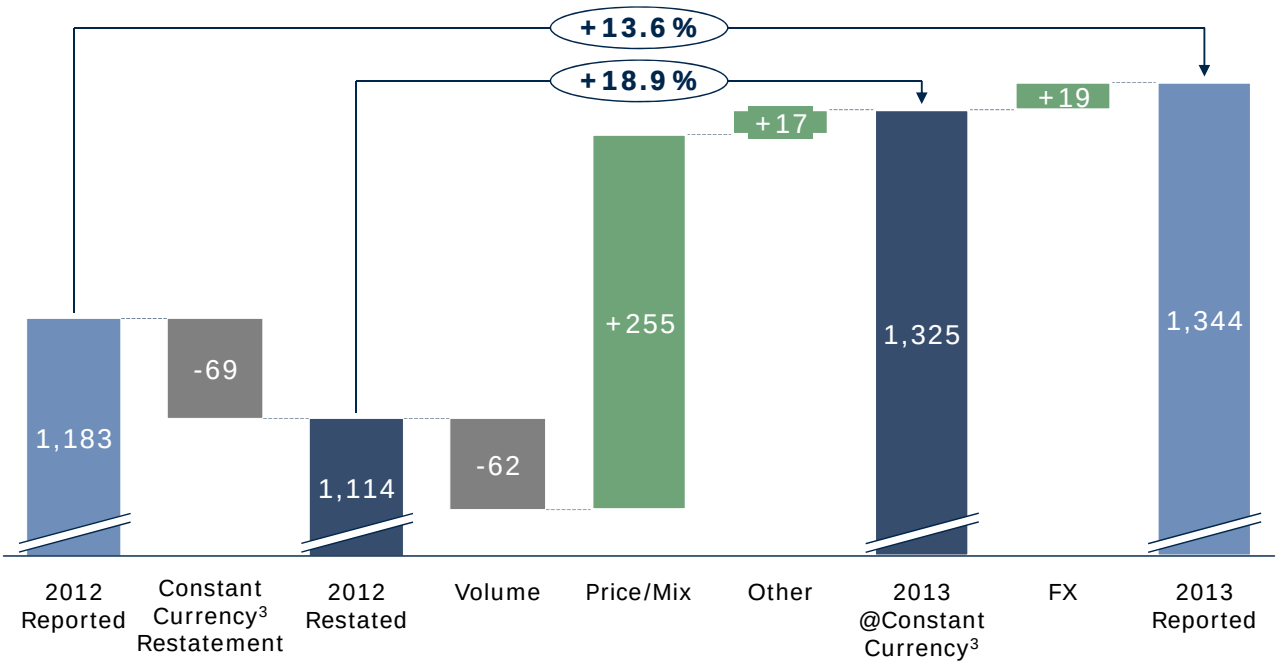
(百万US$)



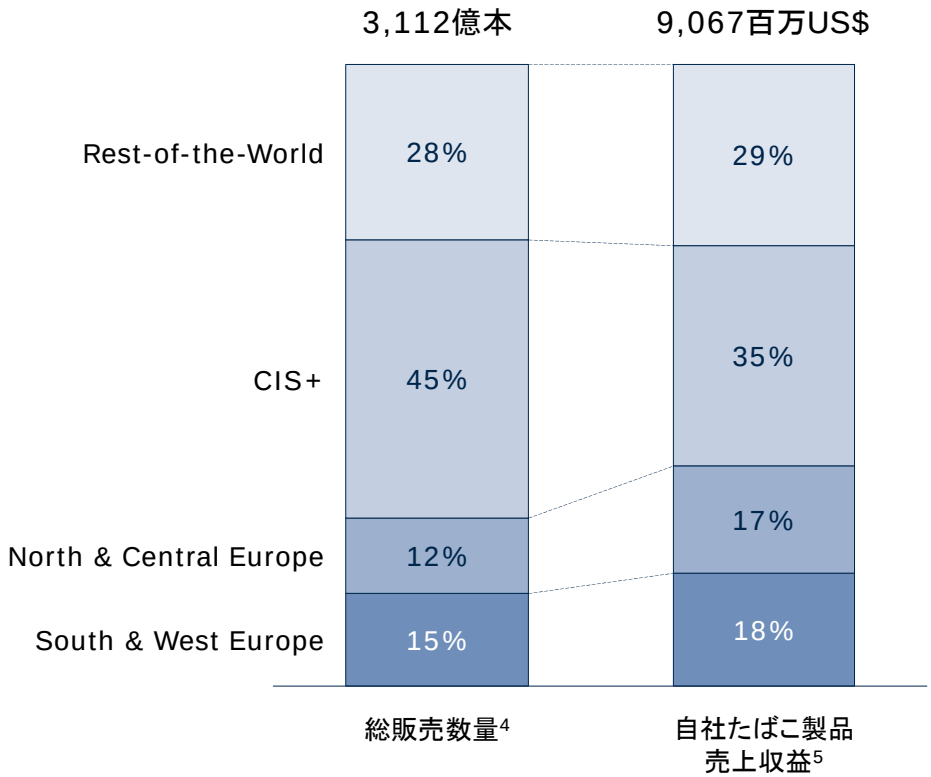
<Back up data>　JT International(7-9月期速報)
調整後EBITDA

調整後EBITDA[1]

(百万US$)



<Back up data>　JT International(1-9月期速報)
4クラスター別構成比



<Back up data> JT International
総販売数量成長率(対前年同期)

	2013 1-3月	2013 4-6月	2013 7-9月	2013 1-9月
JTI	**-6.4%**	**-3.9%**	**-5.1%**	**-5.1%**
South & West Europe	**-2.0%**	**-3.4%**	**-0.4%**	**-1.9%**
France	8.3%	14.3%	9.6%	10.7%
Italy	-15.7%	-15.9%	-1.7%	-11.2%
Spain	1.7%	-10.3%	-10.9%	-6.7%
North & Central Europe	**-3.0%**	**1.5%**	**5.4%**	**1.4%**
Austria	4.2%	0.7%	3.4%	2.7%
Ireland	4.0%	0.5%	5.9%	3.5%
Poland	-5.3%	-2.9%	5.5%	-0.9%
Sweden	10.5%	6.5%	3.9%	6.7%
UK	-8.2%	-3.6%	-0.8%	-4.2%
CIS+	**-5.6%**	**-5.7%**	**-7.5%**	**-6.3%**
Kazakhstan	-5.9%	1.1%	-7.7%	-4.0%
Romania	1.5%	-0.8%	0.5%	0.3%
Russia	-4.3%	-7.9%	-10.3%	-7.8%
Ukraine	-17.2%	-6.8%	-4.3%	-9.1%
Rest –of –the World	**-11.0%**	**-3.2%**	**-7.8%**	**-7.3%**
Canada	-8.7%	-0.3%	4.4%	-1.3%
Malaysia	-5.8%	4.2%	-9.1%	-3.7%
Taiwan	2.9%	0.9%	1.9%	1.9%
Turkey	3.0%	-3.8%	-3.2%	-1.6%

ひとの ときを、想う。JT

<Back up data> JT International
GFB販売数量

(億本)	2013 1-3月	2013 4-6月	2013 7-9月	2013 1-9月
GFB販売数量	**584** (-4.5%)	**695** (-0.3%)	**703** (-1.8%)	**1,982** (-2.1%)
Winston	**296** (-5.4%)	**376** (+3.6%)	**366** (-1.0%)	**1,037** (-0.8%)
Camel	**91** (-5.2%)	**100** (-3.7%)	**106** (-1.1%)	**297** (-3.3%)
Mild Seven/ MEVIUS	**44** (-1.7%)	**45** (-5.4%)	**49** (-1.1%)	**138** (-2.8%)
B&H	**23** (-10.2%)	**25** (-2.1%)	**27** (-0.4%)	**75** (-4.2%)
Silk Cut	**8** (-10.6%)	**8** (-14.1%)	**8** (-9.1%)	**24** (-11.2%)
LD	**98** (+0.2%)	**114** (-4.2%)	**121** (-2.3%)	**334** (-2.3%)
Sobranie	**5** (+32.9%)	**6** (+26.4%)	**6** (+14.0%)	**16** (+23.2%)
Glamour	**18** (-11.5%)	**22** (-12.4%)	**20** (-17.7%)	**60** (-14.0%)

( )内は、対前年同期増減率

<Back up data> JT International
増税・値上げ情報

	増税	値上げ
France	13年1月、7月[i)]	12年10月 13年7月
Italy	-	2012年3月
Russia	12年1月、7月 13年1月	12年6月、12月 13年6月
Spain	12年4月、9月[i)] 13年1月、6月[i)]	12年4月、9月 13年1月、7月
Taiwan	-	12年8月-9月[ii)] 13年7月, 9月-10月[ii)]
Turkey	13年1月、7月	13年1月
UK	12年3月 13年3月	12年3月、9月 13年3月、9月

i)税制の変更
ii)各月一部銘柄

<Back up data> JT International
主要市場シェア(12ヶ月移動平均)

	2012 9月	2013 9月	増減
France	16.9%	20.4%	+3.5ppt
Italy	21.2%	21.7%	+0.5ppt
Russia	36.5%	36.2%	-0.2ppt
(GFB)	21.6%	22.8%	+1.2ppt
Spain	20.7%	21.3%	+0.7ppt
Taiwan	38.7%	39.5%	+0.8ppt
Turkey	25.9%	26.6%	+0.6ppt
UK	38.9%	40.5%	+1.6ppt

Source: Altadis, IRI, Nielsen, Logista

<Back up data> JT International
主要市場シェア(3ヶ月移動平均)

	2012 7-9月	2012 10-12月	2013 1-3月	2013 4-6月	2013 7-9月
France	17.8%	20.3%	20.3%	20.3%	20.6%
Italy	21.4%	21.6%	21.7%	21.9%	21.7%
Russia	36.4%	36.0%	36.3%	36.2%	36.5%
(GFB)	22.1%	22.2%	22.5%	23.1%	23.6%
Spain	19.9%	21.2%	21.1%	21.9%	21.1%
Taiwan	39.8%	38.5%	39.5%	40.0%	39.9%
Turkey	26.4%	26.5%	26.1%	26.8%	26.8%
UK	39.7%	40.2%	40.4%	40.5%	40.9%

Source: Altadis, IRI, Nielsen, Logista

<Back up data> JT International
為替レート

	2013 1-3月	2013 4-6月	2013 7-9月	2013 1-9月
RUB/$	30.40 (0.8%安)	31.65 (1.9%安)	32.78 (2.4%安)	31.61 (1.7%安)
GBP/$	0.64 (1.1%安)	0.65 (3.0%安)	0.65 (1.9%安)	0.65 (2.0%安)
EUR/$	0.76 (0.8%高)	0.77 (1.7%高)	0.75 (5.9%高)	0.76 (2.8%高)
CHF/$	0.93 (0.9%安)	0.94 (0.7%安)	0.93 (3.3%高)	0.93 (0.6%高)
TWD/$	29.47 (0.8%高)	29.85 (0.8%安)	29.85 (0.1%安)	29.73 (0.0%安)
JPY/$	92.46 (14.2%安)	98.78 (18.8%安)	98.93 (20.5%安)	96.83 (18.0%安)

( )内は、対前年同期増減率

<Back up data> 海外たばこ事業
修正見込為替レート

	2012年 実績	2013年 当初見込	2013年 修正見込	利益への影響 対当初見込
RUB/$	31.07	31.00	31.96	ネガティブ
GBP/$	0.63	0.66	0.65	ポジティブ
EUR/$	0.78	0.80	0.76	ポジティブ
CHF/$	0.94	0.96	0.93	ネガティブ
TWD/$	29.57	29.71	29.82	ネガティブ
JPY/$	79.81	95.00	97.00	ポジティブ

<Back up data>
基本的1株当たり利益、1株当たり配当金、連結配当性向、中間配当金

	2012年度 実績	2013年度 予想	増減
基本的1株当たり利益(円)*	181.07	228.34	+47.27
1株当たり配当金(円)	68.00	92.00	+24.00
連結配当性向(%)**	37.6%	40.3%	+2.7ppt

	2012年度 第2四半期累計実績	2013年度 第2四半期累計実績	増減
基本的1株当たり利益(円)*	88.62	130.48	+41.86
中間配当金(円)	30.00	46.00	+16.00

*親会社の所有者に帰属する当期利益を基に算定
**連結配当性向＝1株当たり配当金／基本的1株当たり利益

＜注記＞

1 調整後EBITDA:	調整後EBITDA＝営業利益＋有形固定資産の減価償却＋無形資産の償却費 ＋調整項目(収益及び費用)* *調整項目(収益及び費用) ＝ のれんの減損損失 ± リストラクチャリング収益及び費用等
2 四半期利益/当期利益:	親会社の所有者に帰属する四半期利益/当期利益
3 為替一定: (海外たばこ事業)	為替一定ベースの指標は、当年の実績を前年の為替レートに基づき算出し直したものです。2013年において、大幅な為替変動、通貨価値下落、インフレが生じている市場の実績(もしくは見込)は、財務報告ベースおよび為替一定ベースの指標とも、実績為替レート(見込の場合は、想定為替レート)に基づいて算出しております。同様の方法で、当該市場における2012年の為替一定ベースの実績についても算出し直しています。ただし、為替一定ベースの実績については追加的に提供しているものであり、国際会計基準(IFRS)に基づく財務報告に代わるものではありません。
4 総販売数量: (海外たばこ事業)	水たばこ/製造受託を除き、Fine Cut/Cigar/Pipe/Snus込み
5 自社たばこ製品売上収益: (海外たばこ事業)	物流事業、製造受託等を除き、水たばこの売上込み
6 販売数量: (国内たばこ事業)	国内免税販売及び中国事業部分を含まない
7 自社たばこ製品売上収益: (国内たばこ事業)	輸入たばこ配送手数料収益等を控除

ひとの ときを、想う。

（このスライドは空白です）

ひとの ときを、想う。

【参考資料】

2013年度第2四半期実績における増減要因の分析

※本資料に含まれる数値は各事業の業績を分かりやすく説明するために使用しており、
　財務諸表の数値と異なる場合があります。
※各指標の注記は、slide21をご覧下さい。

ひとの
ときを、
想う。

当資料取扱上の注意点

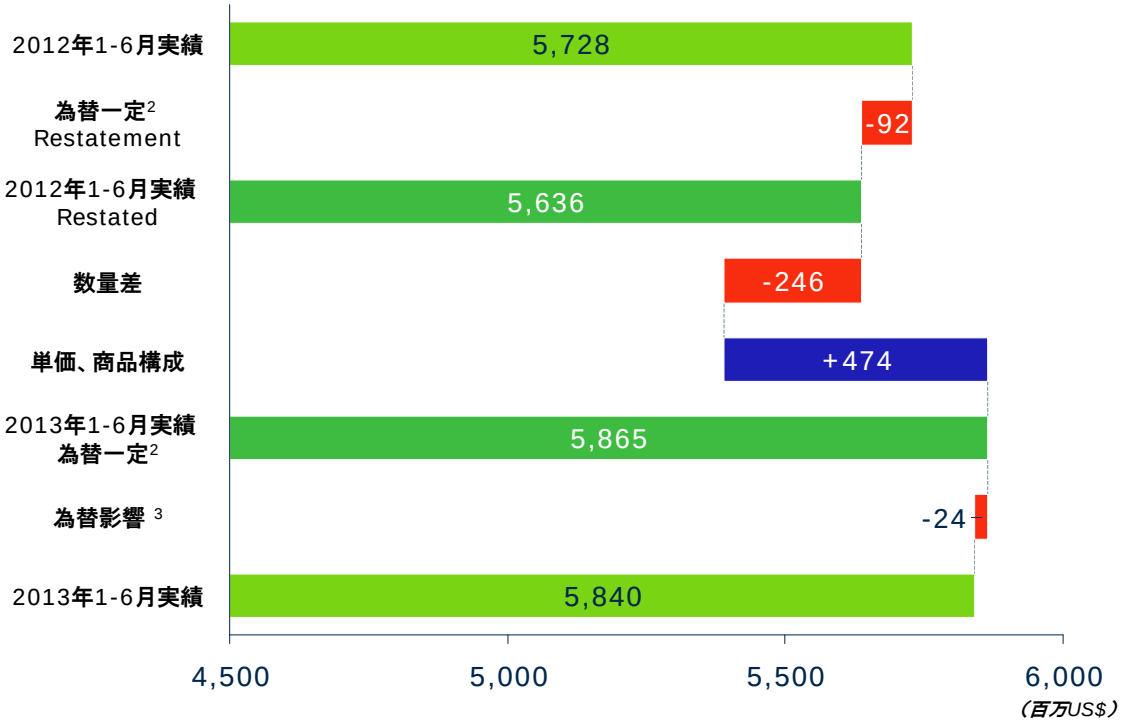
将来に関する記述等についてのご注意

本資料には、当社又は当社グループの業績に関連して将来に関する記述を含んでおります。かかる将来に関する記述は、「考えています」「見込んでいます」「予期しています」「予想しています」「予見しています」「計画」「戦略」「可能性」等の語句や、将来の事業活動、業績、事象又は条件を表す同様の語句を含むことがあります。将来に関する記述は、現在入手できる情報に基づく経営者の判断、予測、期待、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。これらの記述ないし事実又は前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もなく、当社としてその実現を約束する趣旨のものでもありません。また、かかる将来に関する記述は、さまざまなリスクや不確実性に晒されており、実際の業績は、将来に関する記述における見込みと大きく異なる場合があります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます（なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません）。

（1）喫煙に関する健康上の懸念の増大
（2）たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更（増税、たばこ製品の販売、国産葉たばこの買入れ義務、包装、ラベル、マーケティング及び使用に関する政府の規制等）、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
（3）国内外の訴訟の動向
（4）国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
（5）国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
（6）市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化及び需要の減少
（7）買収やビジネスの多角化に伴う影響
（8）国内外の経済状況
（9）為替変動及び原材料費の変動
（10）自然災害及び不測の事態等

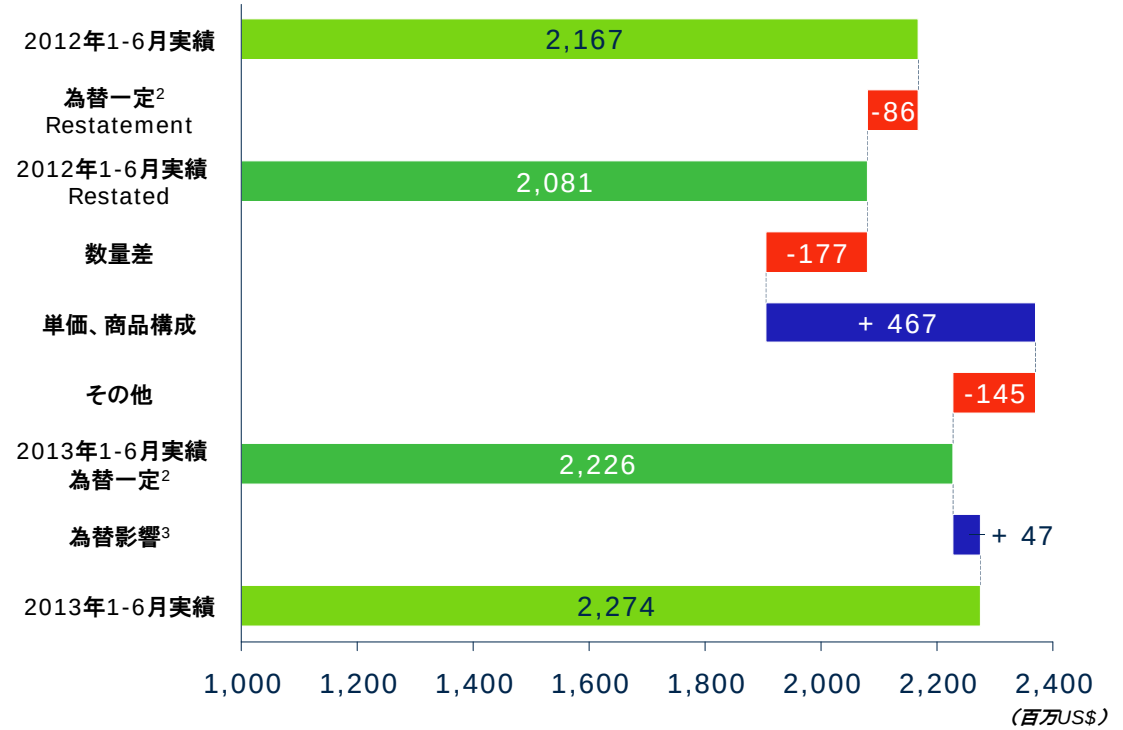
2013年度第2四半期実績

□ 海外たばこ事業 自社たばこ製品売上収益[1]



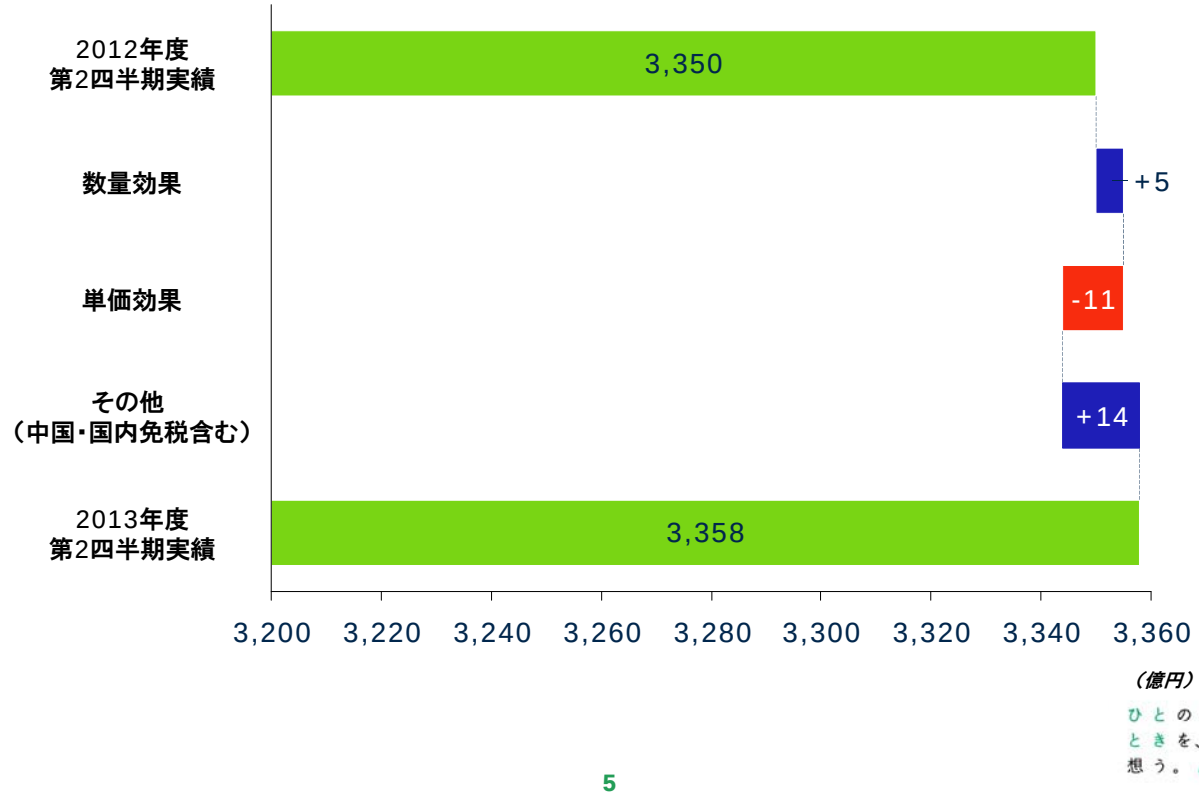
2013年度第2四半期実績

□ 海外たばこ事業 調整後EBITDA[4]



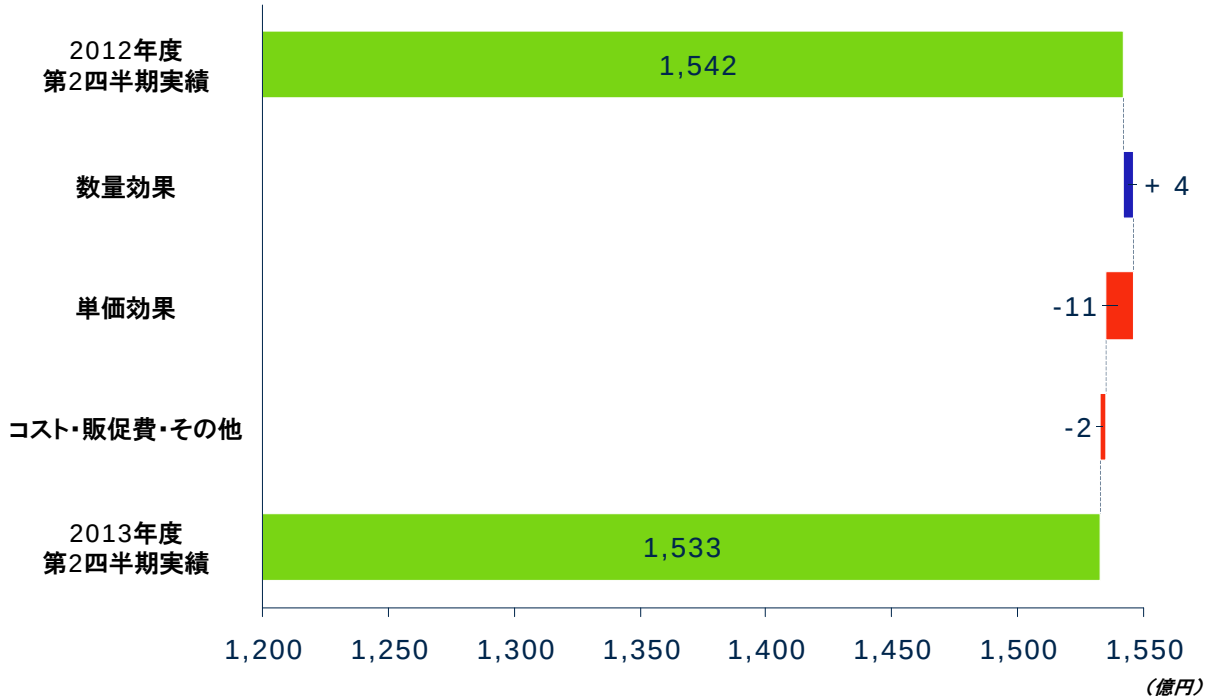
2013年度第2四半期実績

□ 国内たばこ事業 自社たばこ製品売上収益[5]



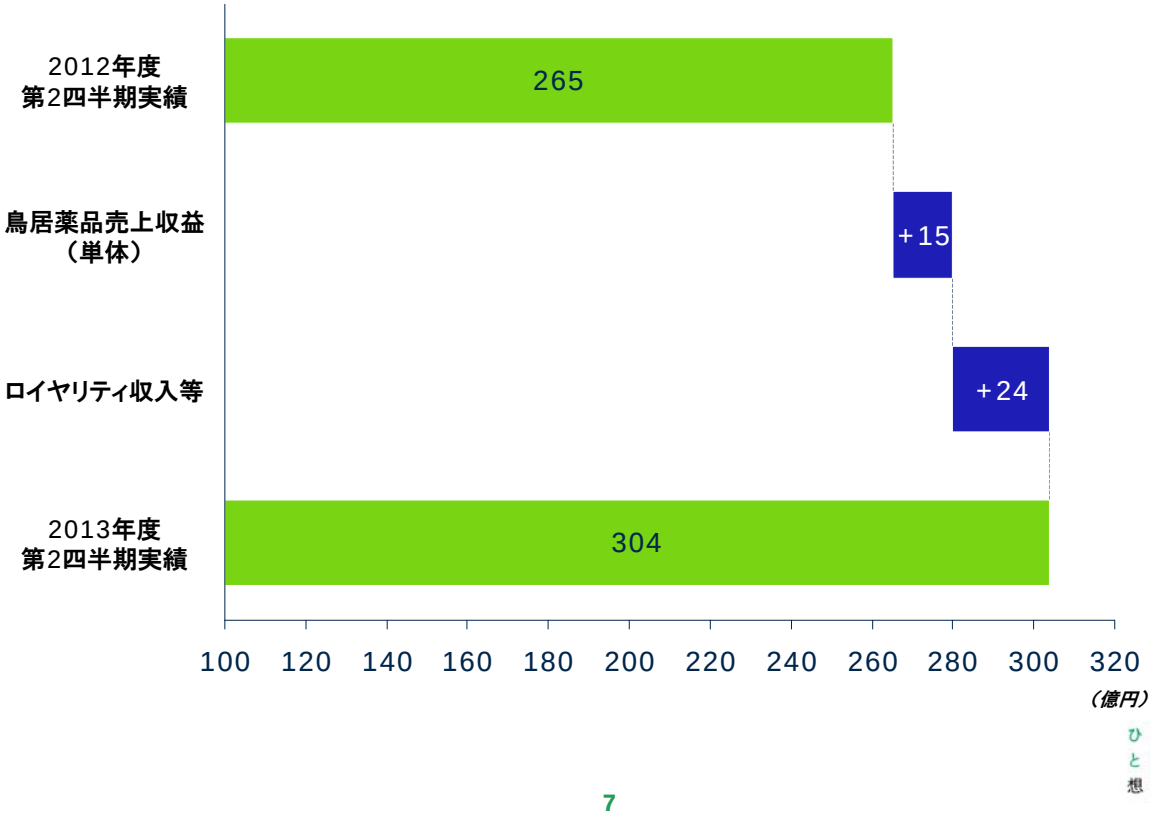
2013年度第2四半期実績

□ 国内たばこ事業 調整後EBITDA[4]



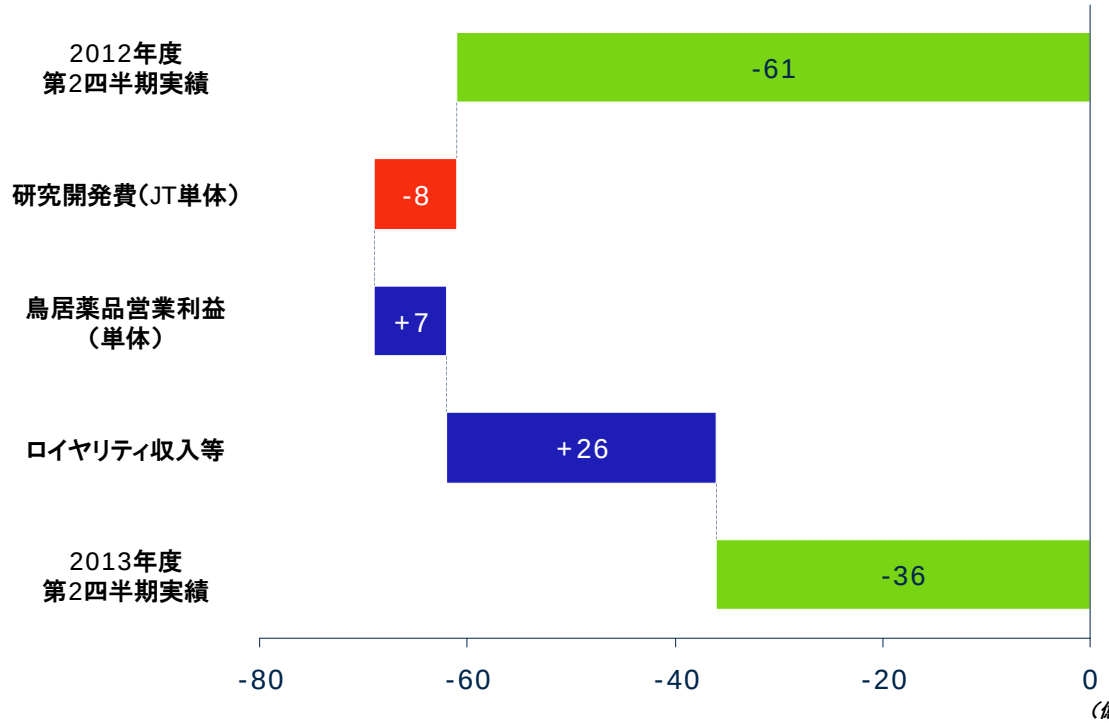
2013年度第2四半期実績

□ 医薬事業 売上収益



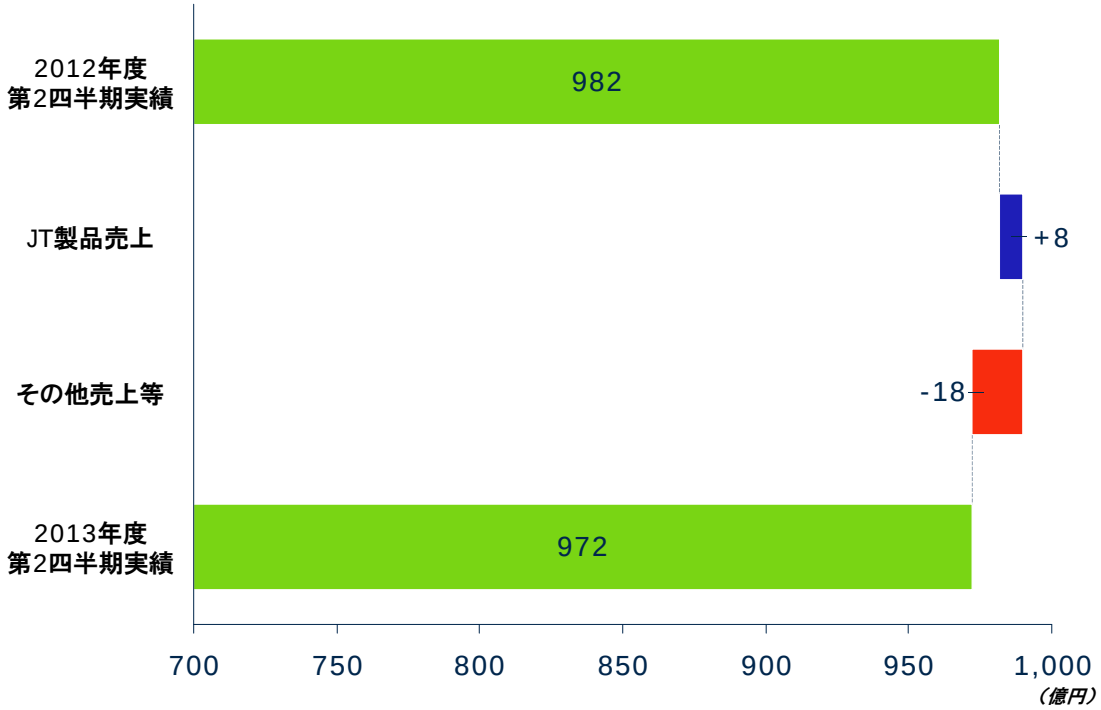
2013年度第2四半期実績

□ 医薬事業 調整後EBITDA[4]



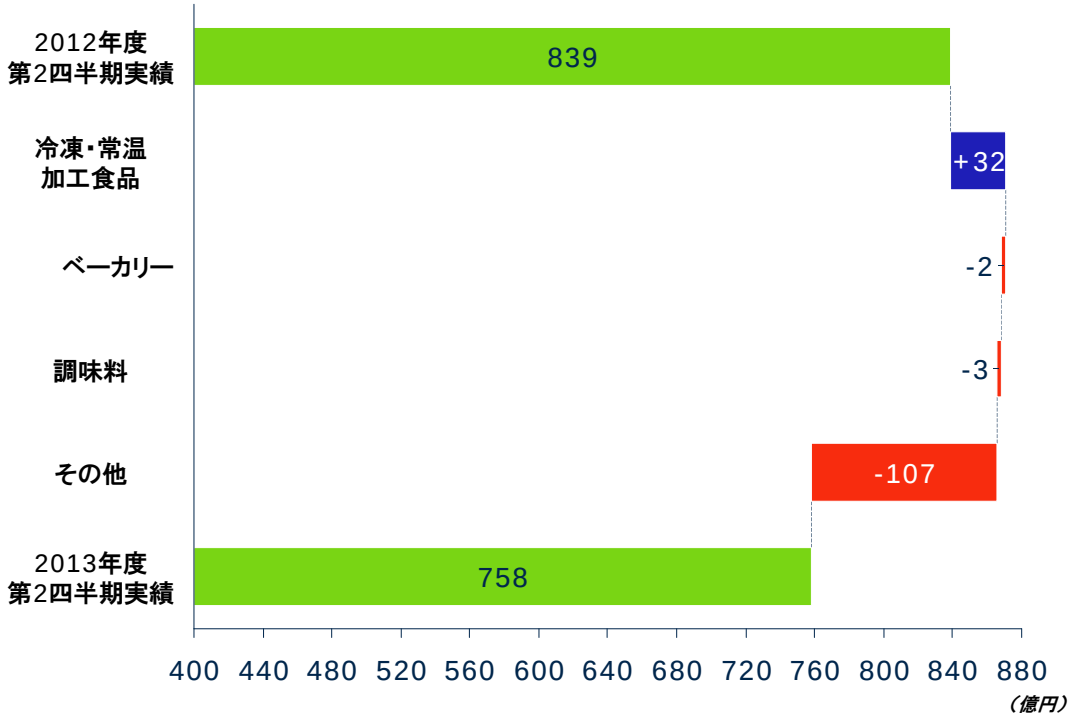
2013年度第2四半期実績

□ 飲料事業 売上収益



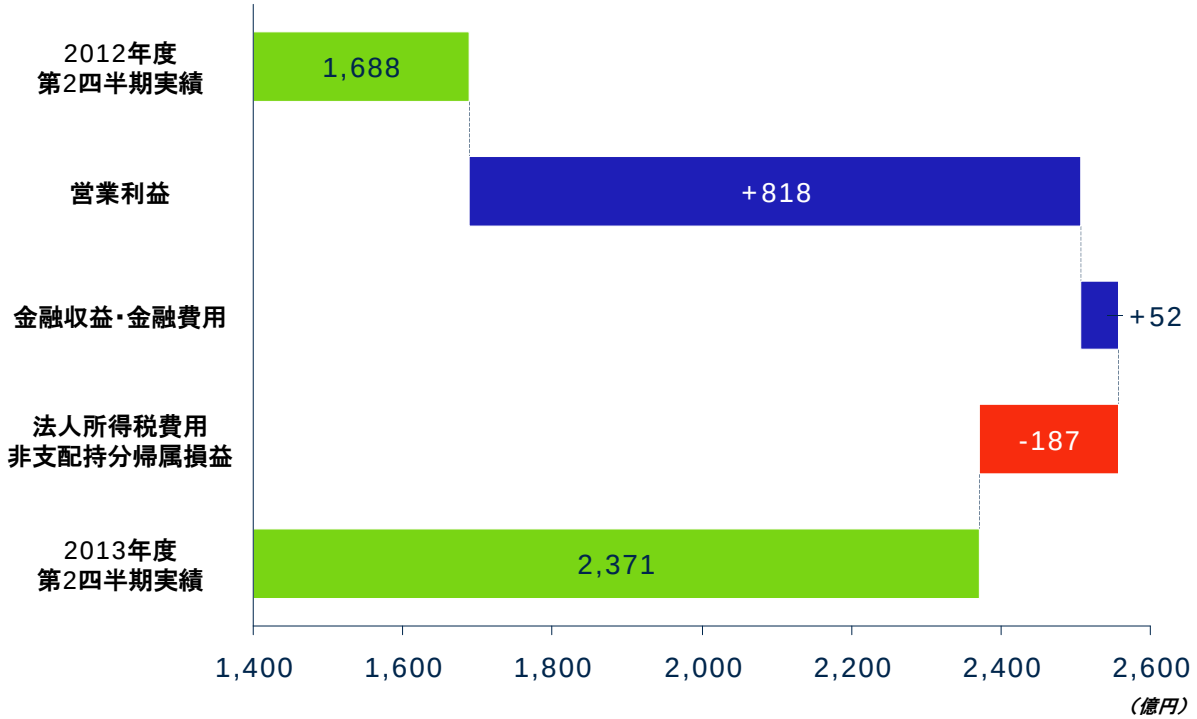
2013年度第2四半期実績

□ 加工食品事業 売上収益



注)増減要因の「その他」に水産事業を含む

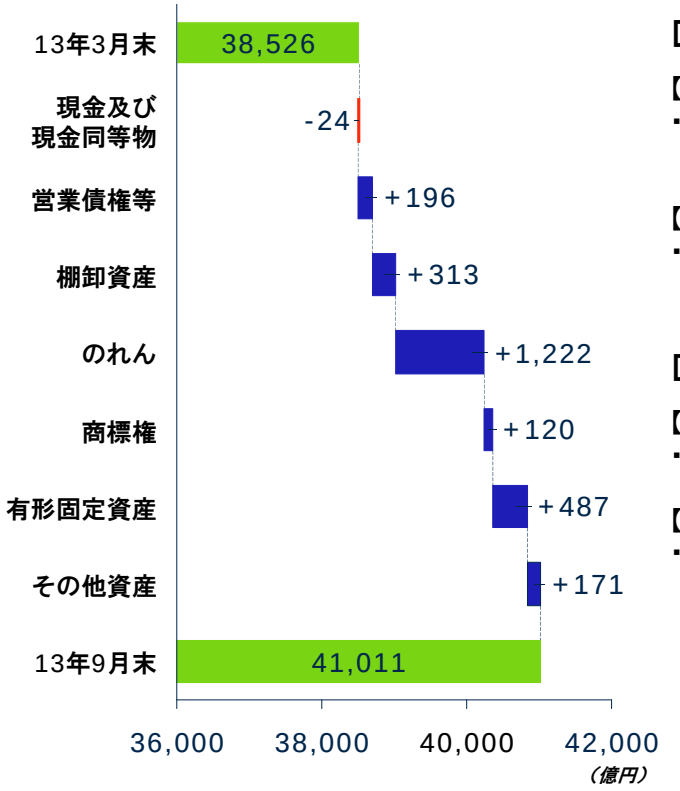
ロ　親会社の所有者に帰属する四半期利益



(このスライドは空白です)

2013年度第2四半期末　連結財政状態計算書

□　資産の部　2013年3月末・2013年9月末比較



□流動資産：+558億円

【棚卸資産の増加】+313億円
・海外たばこ事業での夏季需要に向けた在庫の増、円安影響等

【その他流動資産の増加】+261億円
・海外たばこ事業における前払たばこ税の増等

□非流動資産：+1,928億円

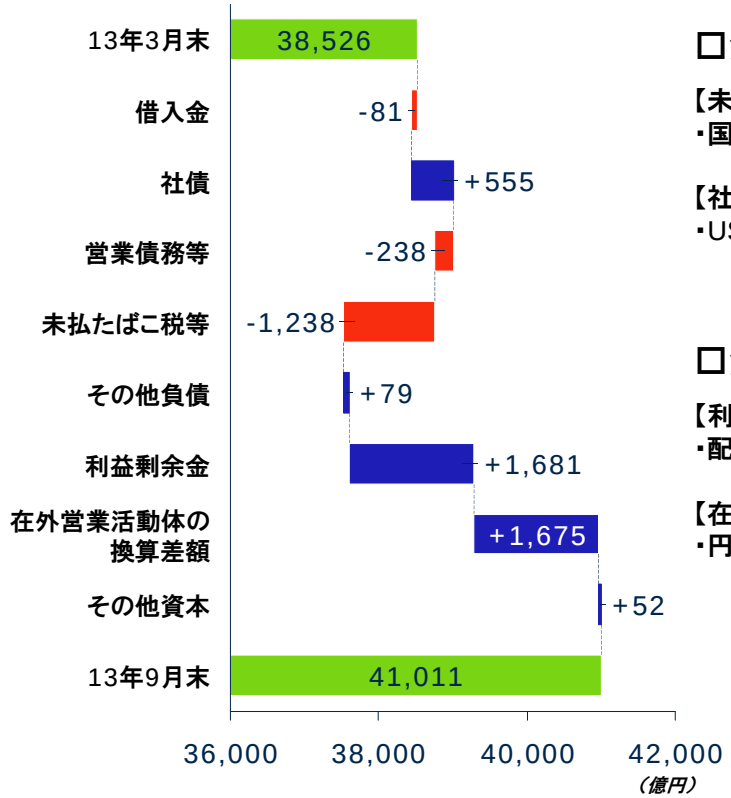
【のれんの増加】+1,222億円
・円安影響

【有形固定資産の増加】+487億円
・海外たばこ事業での製造設備への投資、円安影響等

13

2013年度第2四半期末　連結財政状態計算書

□　負債・資本の部　2013年3月末・2013年9月末比較



□負債合計：-923億円

【未払たばこ税等の減少】-1,238億円
・国内たばこ事業での前年度末休日による暦日影響

【社債の増加】+555億円
・USD建社債の発行

□資本：+3,408億円

【利益剰余金の増加】+1,681億円
・配当金の支払いあるも、当期利益の計上による増

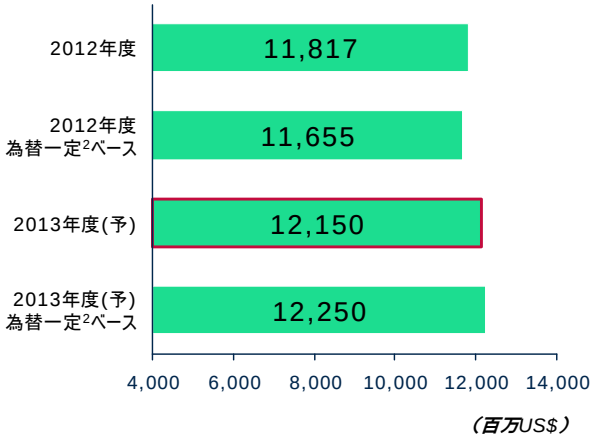
【在外営業活動体の換算差額】+1,675億円
・円安影響

14

2013年度 業績予想_対前年度実績(IFRS)

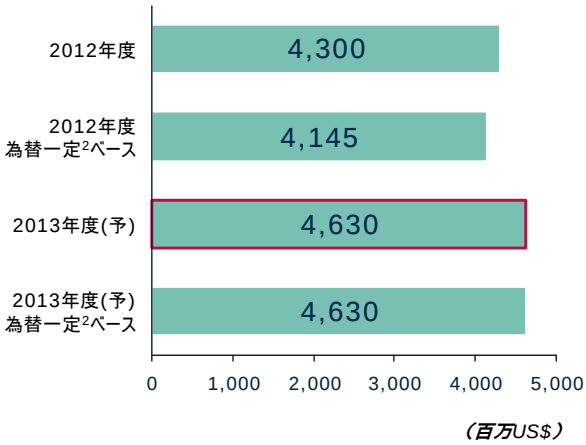
□ 海外たばこ事業 自社たばこ製品売上収益[1](\$ベース)/調整後EBITDA[4](\$ベース)

- 自社たばこ製品売上収益[1]



【主な増加要因】
- ❑ 単価効果

- 調整後EBITDA[4]

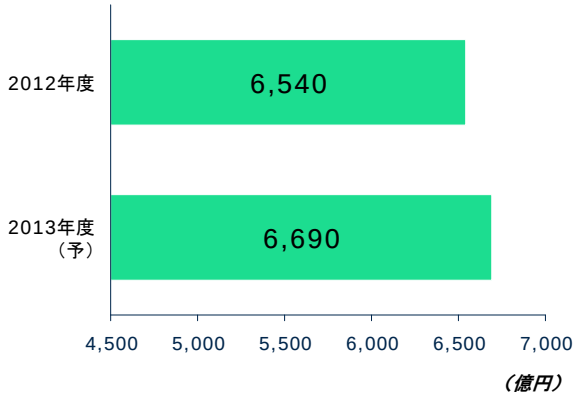


【主な増加要因】
- ❑ 単価効果

2013年度 業績予想_対前年度実績(IFRS)

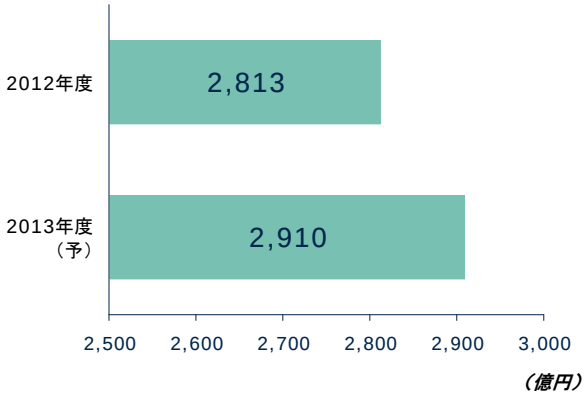
□ 国内たばこ事業 自社たばこ製品売上収益[5]/調整後EBITDA[4]

- 自社たばこ製品売上収益[5]



【主な増加要因】
- ❑ シェア回復及び消費税増税に伴う仮需影響によるJT販売数量の増:
  1,162億本⇒1,190億本

- 調整後EBITDA[4]

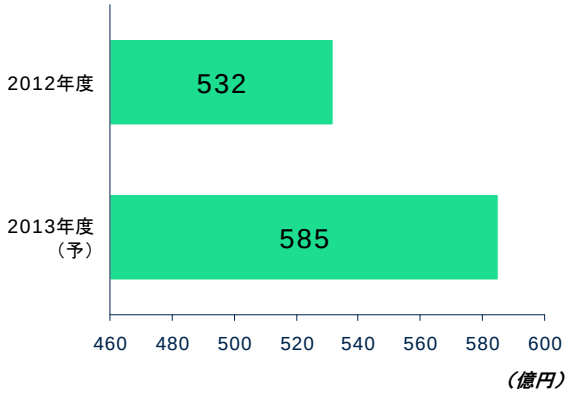


【主な増加要因】
- ❑ シェア回復及び消費税増税に伴う仮需影響によるJT販売数量の増:
  1,162億本⇒1,190億本

2013年度 業績予想_対前年度実績(IFRS)

□ 医薬事業 売上収益/調整後EBITDA[4]

- **売上収益**



【主な増加要因】
- ❑ 鳥居薬品の増収
- ❑ JTでのロイヤリティ収入の増

- **調整後EBITDA[4]**



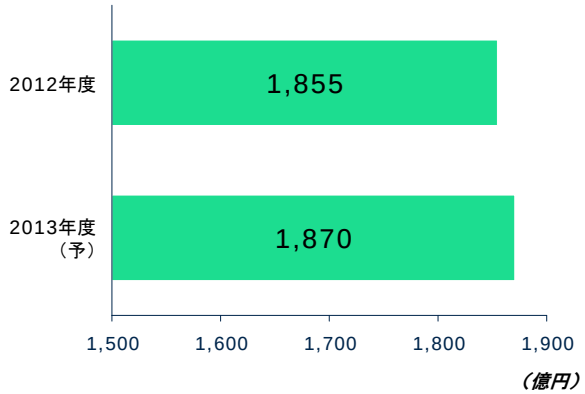
【主な増加要因】
- ❑ 鳥居薬品の増収効果
- ❑ JTでのロイヤリティ収入の増

【主な減少要因】
- ❑ 研究開発費の増加

2013年度 業績予想_対前年度実績(IFRS)

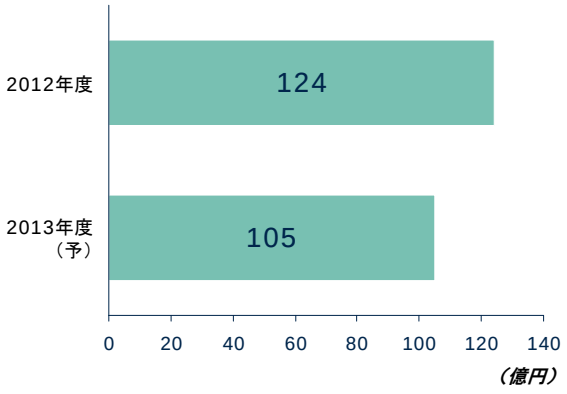
□ 飲料事業 売上収益/調整後EBITDA[4]

- **売上収益**



【主な増加要因】
- ❑ 「桃の天然水」の伸長

- **調整後EBITDA[4]**

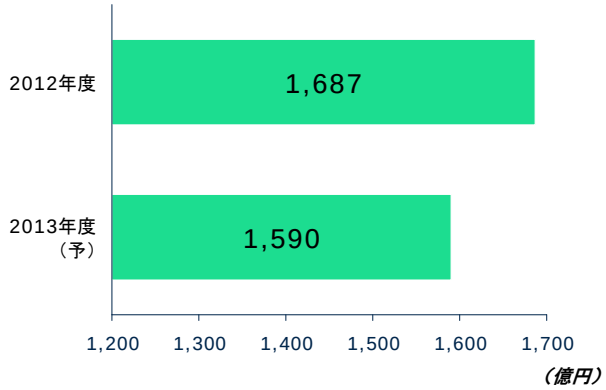


【主な減少要因】
- ❑ 質の高い自販機オペレーションの更なる強化や、ブランド力強化に向けた費用増加等

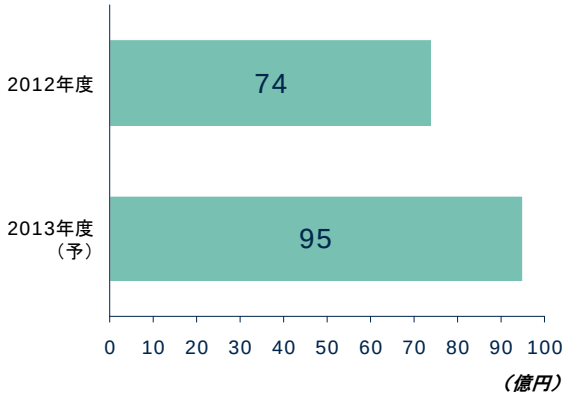
2013年度 業績予想_対前年度実績(IFRS)

□ 加工食品事業 売上収益/調整後EBITDA[4]

- **売上収益**



- **調整後EBITDA[4]**



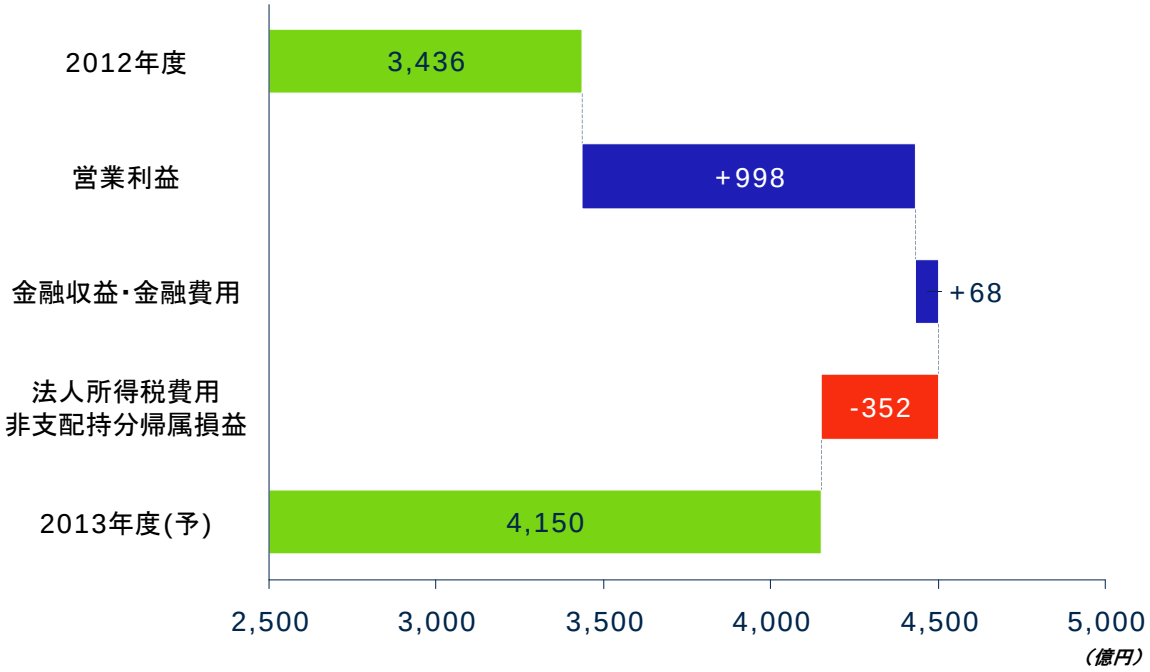
【主な増加要因】
- ステープル(主食)の伸長

【主な減少要因】
- 水産事業からの撤退による減収

【主な増加要因】
- ステープルの増収効果及びコスト削減施策実施等

2013年度 業績予想_対前年度実績(IFRS)

□ 親会社の所有者に帰属する当期利益



＜注記＞

1 自社たばこ製品売上収益：（海外たばこ事業）	物流事業、製造受託等を除き、水たばこの売上込み
2 為替一定：（海外たばこ事業）	為替一定ベースの指標は、当年の実績を前年の為替レートに基づき算出し直したものです。2013年において、大幅な為替変動、通貨価値下落、インフレが生じている市場の実績（もしくは見込み）は、財務報告ベースおよび為替一定ベースの指標とも、実績為替レート（見込みの場合は、想定為替レート）に基づいて算出しております。同様の方法で、当該市場における2012年の為替一定ベースの実績についても算出し直しています。ただし、為替一定ベースの実績については追加的に提供しているものであり、国際会計基準（IFRS）に基づく財務報告に代わるものではありません。
3 為替影響（海外たばこ事業）	USドルと各現地通貨との間の為替影響
4 調整後EBITDA：	調整後EBITDA＝営業利益＋有形固定資産の減価償却費＋無形資産の償却費＋調整項目（収益及び費用）* *調整項目（収益及び費用） ＝ のれんの減損損失 ± リストラクチャリング収益及び費用等
5 自社たばこ製品売上収益：（国内たばこ事業）	輸入たばこ配送手数料に係る売上収益等を控除

（このスライドは空白です）

2013年度
第2四半期実績

・IAS第19号の改定に伴い、2012 年度の財務報告ベース及び為替一定ベースについて遡及修正を行った数値を掲載しています。
・当該遡及修正による財務諸表への重要な影響はありません。

1.業績ハイライト

（単位：億円、%）

	12年度 第2四半期	13年度 第2四半期	増減	増減率
売上収益	10,574	11,591	+1,017	+9.6%
営業利益	2,655	3,474	+818	+30.8%
税引前四半期利益	2,520	3,391	+871	+34.5%
四半期利益	1,718	2,411	+692	+40.3%
親会社の所有者に帰属する四半期利益	1,688	2,371	+684	+40.5%
調整後EBITDA(注1)	3,290	3,717	+427	+13.0%

（注1）：調整後EBITDA＝営業利益＋有形固定資産の減価償却費＋無形資産の償却費±調整項目（収益及び費用）*
*調整項目（収益及び費用） ＝のれんの減損損失 ± リストラクチャリング収益及び費用等

（参考）

（単位：億円、%）

	12年度 第2四半期	13年度 第2四半期	増減	増減率
全社 為替一定ベース 調整後EBITDA(注2)	3,290	3,315	+24	+0.7%

（注2）：12年度第2四半期は実績値、13年度第2四半期は海外たばこ事業について12年度第2四半期と同じ現地通貨及び円の対ドルレートを使用した場合の全社調整後EBITDA

2.売上収益の内訳

（単位：億円、%）

	12年度 第2四半期	13年度 第2四半期	増減	増減率
売上収益	10,574	11,591	+1,017	+9.6%
国内たばこ事業	3,507	3,523	+17	+0.5%
自社たばこ製品売上収益(注1)	3,350	3,358	+7	+0.2%
海外たばこ事業(注2)	4,902	5,962	+1,060	+21.6%
自社たばこ製品売上収益(注3)	4,570	5,597	+1,027	+22.5%
医薬事業	265	304	+39	+14.7%
飲料事業	982	972	-10	- 1.0%
加工食品事業	839	758	-80	- 9.6%
その他の売上収益	79	71	-8	- 9.8%

（参考 ドルベース）

（単位：百万ドル、%）

	12年 1-6月期	13年 1-6月期	増減	増減率
海外たばこ事業 自社たばこ製品売上収益(注3)	5,728	5,840	+112	+2.0%
海外たばこ事業 為替一定ベース 自社たばこ製品売上収益(注3)(注4)	5,636	5,865	+228	+4.1%

（注1）：国内たばこ事業の輸入たばこ配送手数料収益等を控除

（注2）：海外たばこ事業は、1-6月期の実績

（注3）：海外たばこ事業の物流事業、製造受託等を除き、水たばこの売上を含んだ実績

（注4）：為替一定ベースの指標は、当年の実績を前年の為替レートに基づき算出し直したものです。2013年において、大幅な為替変動、通貨価値下落、インフレが生じている市場の実績は、財務報告ベースおよび為替一定ベースの指標とも、実績為替レートに基づいて算出しております。同様の方法で、当該市場における2012年の為替一定ベースの実績についても算出し直しています。ただし、為替一定ベースの実績については追加的に提供しているものであり、国際会計基準（IFRS）に基づく財務報告に代わるものではありません。

3.事業セグメント別調整後EBITDA(注1)

（単位：億円、%）

	12年度 第2四半期	13年度 第2四半期	増減	増減率
全社 営業利益	2,655	3,474	+818	+30.8%
調整合計(注3)	635	244	-391	-
全社 調整後EBITDA(注1)	3,290	3,717	+427	+13.0%
国内たばこ 営業利益	1,357	1,322	-34	- 2.5%
調整合計(注3)	185	210	+25	-
国内たばこ 調整後EBITDA(注1)	1,542	1,533	-9	- 0.6%
海外たばこ 営業利益(注2)	1,448	1,867	+420	+29.0%
調整合計(注2)(注3)	281	311	+30	-
海外たばこ 調整後EBITDA(注1)(注2)	1,729	2,178	+450	+26.0%
医薬 営業利益	-77	-54	+23	-
調整合計(注3)	17	18	+1	-
医薬 調整後EBITDA(注1)	-61	-36	+24	-
飲料 営業利益	23	-7	-31	-
調整合計(注3)	50	53	+3	-
飲料 調整後EBITDA(注1)	73	45	-28	- 37.8%
加工食品 営業利益	-36	-3	+33	-
調整合計(注3)	63	33	-30	-
加工食品 調整後EBITDA(注1)	27	30	+3	+10.4%
その他/消去 営業利益	-60	348	+408	-
調整合計(注3)	40	-381	-421	-
その他/消去 調整後EBITDA(注1)	-20	-33	-13	-

（参考 ドルベース）

（単位：百万ドル、%）

	12年 1-6月期	13年 1-6月期	増減	増減率
海外たばこ事業 調整後EBITDA(注1)	2,167	2,274	+107	+4.9%
海外たばこ事業 為替一定ベース 調整後EBITDA(注1)(注4)	2,081	2,226	+145	+7.0%

（注1）：調整後EBITDA＝営業利益＋有形固定資産の減価償却費＋無形資産の償却費±調整項目（収益及び費用）*
*調整項目（収益及び費用） ＝のれんの減損損失 ± リストラクチャリング収益及び費用等

（注2）：海外たばこ事業は、1-6月期の実績

（注3）：減価償却費及び償却費、調整項目（収益及び費用）＝のれんの減損損失±リストラクチャリング収益及び費用等

（注4）：為替一定ベースの指標は、当年の実績を前年の為替レートに基づき算出し直したものです。2013年において、大幅な為替変動、通貨価値下落、インフレが生じている市場の実績は、財務報告ベースおよび為替一定ベースの指標とも、実績為替レートに基づいて算出しております。同様の方法で、当該市場における2012年の為替一定ベースの実績についても算出し直しています。ただし、為替一定ベースの実績については追加的に提供しているものであり、国際会計基準（IFRS）に基づく財務報告に代わるものではありません。

4.連結財政状態データ

（単位：億円）

	13年3月末	13年9月末	増減
資産合計	38,526	41,011	+2,486
資本合計	18,924	22,333	+3,408
親会社の所有者に帰属する持分	18,065	21,452	+3,386
1株あたり親会社所有者帰属持分（円）	993.98	1,180.30	+186.32

5.手元流動性(注)

（単位：億円）

	13年3月末	13年9月末	増減
手元流動性	1,683	1,463	-220

（注）：手元流動性＝現預金＋短期保有の有価証券＋現先

6.有利子負債(注)

（単位：億円）

	13年3月末	13年9月末	増減
有利子負債	3,272	3,766	494

（注）：有利子負債＝短期借入金＋社債＋長期借入金＋リース債務＋コマーシャルペーパー

7.連結キャッシュ・フローデータ

（単位：億円、%）

	12年度 第2四半期	13年度 第2四半期	増減	増減率
営業キャッシュ・フロー	2,593	232	-2,361	-91.0%
投資キャッシュ・フロー	-963	78	+1,041	―
財務キャッシュ・フロー	-2,149	-403	+1,746	―
現金及び現金同等物の期首残高	4,047	1,427	-2,620	-64.7%
現金及び現金同等物に係る換算差額等	-85	69	+154	―
現金及び現金同等物の期末残高(注1)	3,443	1,403	-2,040	-59.3%
FCF(注2)	1,633	124	-1,509	-92.4%

（注1）：当四半期末の「現金及び現金同等物」には、当社グループのイラン子会社であるJTI Pars PJS Co.が保有する現金及び現金同等物250億円(8兆4,295億イランリアル)が含まれており、イランに対する国際的な制裁等のため、同社によるイラン国外への資金の送金は困難な状況になっております。

（注2）：FCF＝営業活動キャッシュフロー＋投資活動キャッシュフロー ただし以下の項目を除外
営業活動キャッシュフローから利息及び配当金の受取額とその税影響額/利息の支払額とその税影響額
投資活動キャッシュフローから、事業投資以外に係る、投資の取得による支出/投資の売却及び償還による収入/定期預金の預入による支出/定期預金の払出による収入/その他

8.資本的支出

（単位：億円、%）

	12年度 第2四半期	13年度 第2四半期	増減	増減率
資本的支出	540	604	+64	+11.8%
国内たばこ事業	246	188	-58	-23.5%
海外たばこ事業(注)	154	267	+113	+73.8%
医薬事業	38	13	-25	-66.2%
飲料事業	58	90	+32	+54.8%
加工食品事業	23	20	-2	-10.7%
その他/全社・消去	22	25	+4	+18.0%

（注）：海外たばこ事業は、1-6月期の実績

9.主な事業関連計数

【国内たばこ事業】	12年度 第2四半期	13年度 第2四半期	増減	増減率	
JT販売数量(注)	596	596	+1	+0.1%	億本
国内総需要	1,000	984	-16	- 1.6%	億本
JT販売数量シェア	59.5%	60.6%	+1.1%pt		
JT千本当売上収益	5,507	5,488	-19	- 0.3%	円

（注）：JT販売数量には国内免税販売分及び中国事業部分を含まない。当該数量は、2012年度第2四半期15億本、2013年度第2四半期17億本。

【海外たばこ事業】	12年 1-6月期	13年 1-6月期	増減	増減率	
販売数量(注)	2,124	2,016	-108	- 5.1%	億本
GFB販売数量	1,308	1,279	- 30	- 2.3%	億本
円/USドルレート	79.77	95.73	+15.96	16.7%安	円
RUB/USドルレート	30.60	31.03	+0.42	1.4%安	RUB
GBP/USドルレート	0.63	0.65	+0.01	2.1%安	GBP
EUR/USドルレート	0.77	0.76	-0.01	1.2%高	EUR
CHF/USドルレート	0.93	0.94	+0.01	0.8%安	CHF
TWD/USドルレート	29.66	29.66	+0.00	0.0%安	TWD

（注）：水たばこ/受託製造を除き、Fine cut/ Cigar/Pipe/Snus込み

【医薬事業】	12年度 第2四半期	13年度 第2四半期	増減	増減率	
研究開発費	151	155	+4	+2.6%	億円

【飲料事業】	12年度 第2四半期	13年度 第2四半期	増減	増減率	
JT製品販売数量	1,671	1,729	+57	+3.4%	万ケース
うちRoots販売数量	868	839	-28	- 3.2%	万ケース

	13年3月末	13年9月末	増減	
自動販売機台数(注)	262,000	265,000	+3,000	台
うちマーキング機	39,000	41,000	+2,000	台
うちコンビ機	83,000	83,000	-0	台
その他	140,000	141,000	+1,000	台

（注）：自動販売機台数には、関係会社が運営する他社機（缶・ブリック等）及びカップ機を含む。「マーキング機」とは当社所有の自動販売機を指し、「コンビ機」とは関係会社所有で他社の製品も取り扱いながら、JT製品の露出を積極的に行う自動販売機を指す。

2013年度
第2四半期実績

・IAS第19号の改定に伴い、2012 年度の財務報告ベース及び為替一定ベースについて遡及修正を行った数値を掲載しています。
・当該遡及修正による財務諸表への重要な影響はありません。

10.P/L 内訳表

（単位：億円）

	12年度 第2四半期	13年度 第2四半期	増減
売上収益	10,574	11,591	+1,017
売上原価	4,446	4,708	+262
売上総利益	6,128	6,883	+755
その他の営業収益	45	472	+427
固定資産及び投資不動産の売却益	20	423	+403
その他	25	50	+24
持分法による投資利益	24	5	-19
販売費及び一般管理費等	3,541	3,887	+345
広告宣伝費	91	102	+11
販売促進費	606	679	+74
運賃保管費	137	136	-1
委託手数料	193	217	+24
従業員給付費用	1,217	1,353	+137
研究開発費	276	284	+8
減価償却費及び償却費	289	343	+54
減損損失	28	3	-25
有形固定資産、無形資産及び投資不動産の除売却損	42	40	-2
葉たばこ農家に対する廃作協力金	0	―	-0
その他	663	730	+66
営業利益	2,655	3,474	+818
減価償却費及び償却費	568	652	+83
のれんの減損損失	―	―	―
調整項目(収益)	-12	-420	-407
調整項目(費用)	78	11	-67
全社 調整後EBITDA(注1)	3,290	3,717	+427
国内たばこ 営業利益	1,357	1,322	-34
減価償却費及び償却費	196	221	+24
のれんの減損損失	―	―	―
調整項目(収益)	-12	-10	+2
調整項目(費用)	1	―	-1
国内たばこ 調整後EBITDA(注1)	1,542	1,533	-9
海外たばこ 営業利益(注2)	1,448	1,867	+420
減価償却費及び償却費(注2)	253	310	+57
のれんの減損損失(注2)	―	―	―
調整項目(収益)(注2)	-0	―	+0
調整項目(費用)(注2)	28	1	-27
海外たばこ 調整後EBITDA(注1)(注2)	1,729	2,178	+450
医薬 営業利益	-77	-54	+23
減価償却費及び償却費	17	18	+1
のれんの減損損失	―	―	―
調整項目(収益)	―	―	―
調整項目(費用)	―	―	―
医薬 調整後EBITDA(注1)	-61	-36	+24
飲料 営業利益	23	-7	-31
減価償却費及び償却費	50	53	+3
のれんの減損損失	―	―	―
調整項目(収益)	―	―	―
調整項目(費用)	―	―	―
飲料 調整後EBITDA(注1)	73	45	-28
加工食品 営業利益	-36	-3	+33
減価償却費及び償却費	35	34	-1
のれんの減損損失	―	―	―
調整項目(収益)	―	-2	-2
調整項目(費用)	27	1	-26
加工食品 調整後EBITDA(注1)	27	30	+3
その他/消去 営業利益	-60	348	+408
減価償却費及び償却費	18	17	-1
調整項目(収益)	-0	-407	-407
調整項目(費用)	22	9	-13
その他/消去 調整後EBITDA(注1)	-20	-33	-13

（単位：億円）

	12年度 第2四半期	13年度 第2四半期	増減
金融収益	20	27	+7
配当収入	3	4	+0
利息収入	15	21	+6
為替差益	―	―	―
その他	1	2	+1
金融費用	155	110	-45
利息費用	52	44	-8
退職給付費用	29	28	-1
為替差損	66	30	-36
その他	8	8	-0
税引前四半期利益	2,520	3,391	+871
法人所得税費用	802	980	+178
四半期利益	1,718	2,411	+692
親会社の所有者	1,688	2,371	+684
非支配持分	31	39	+9

(注1)：調整後EBITDA＝営業利益＋有形固定資産の減価償却費＋無形資産の償却費±調整項目（収益及び費用）*
*調整項目（収益及び費用） ＝のれんの減損損失 ± リストラクチャリング収益及び費用等

(注2)：海外たばこ事業は、1-6月期の実績

2013年度
第2四半期実績

・IAS第19号の改定に伴い、2012 年度の財務報告ベース及び為替一定ベースについて遡及修正を行った数値を掲載しています。
・当該遡及修正による財務諸表への重要な影響はありません。

11.B/S 内訳表

（単位：億円）

	13年3月末	13年9月末	増減
流動資産	12,131	12,689	+558
現金及び現金同等物	1,427	1,403	-24
現金及び預金	1,218	1,307	+90
短期投資	210	96	-114
営業債権及びその他の債権	3,878	4,074	+196
受取手形及び売掛金	3,680	3,961	+281
その他	215	132	-82
貸倒引当金	-16	-19	-3
棚卸資産	4,730	5,044	+313
商品及び製品	1,331	1,486	+155
葉たばこ	2,920	2,955	+34
その他	479	603	+125
その他の金融資産※1	291	105	-186
その他の流動資産	1,779	2,040	+261
前払たばこ税	1,303	1,466	+163
前払費用	95	158	+62
未収消費税等	106	142	+36
その他	274	274	+0
売却目的で保有する非流動資産	26	24	-2
非流動資産	26,394	28,322	+1,928
有形固定資産	6,723	7,210	+487
取得原価	15,357	16,159	+802
減価償却累計額及び減損損失累計額	-8,634	-8,948	-314
土地、建物及び構築物	3,073	3,185	+112
取得原価	6,157	6,321	+164
減価償却累計額及び減損損失累計額	-3,083	-3,135	-52
機械装置及び運搬具	2,712	2,839	+127
取得原価	7,202	7,526	+324
減価償却累計額及び減損損失累計額	-4,490	-4,687	-197
工具、器具及び備品	653	675	+22
取得原価	1,714	1,801	+87
減価償却累計額及び減損損失累計額	-1,061	-1,126	-65
建設仮勘定	285	511	+226
取得原価	285	511	+226
減価償却累計額及び減損損失累計額	―	―	―
のれん※2	13,165	14,387	+1,222
取得原価	13,165	14,387	+1,222
償却累計額及び減損損失累計額	―	―	―
無形資産	3,488	3,611	+122
取得原価	9,331	9,772	+441
償却累計額及び減損損失累計額	-5,842	-6,161	-319
商標権※3	2,876	2,996	+120
取得原価	7,337	7,706	+368
償却累計額及び減損損失累計額	-4,461	-4,710	-249
ソフトウェア	319	341	+22
取得原価	1,116	1,185	+69
償却累計額及び減損損失累計額	-798	-844	-47
その他	293	274	-20
取得原価	877	881	+4
償却累計額及び減損損失累計額	-583	-607	-24
投資不動産	590	507	-83
退職給付に係る資産	148	174	+26
持分法で会計処理されている投資	229	242	+12
その他の金融資産※3	718	816	+98
繰延税金資産	1,333	1,375	+42
資産合計	38,526	41,011	+2,486

※1

その他の金融資産（流動・非流動の計）	1,009	921	-88
デリバティブ資産	41	62	+21
株式	467	511	+44
債券	157	95	-62
定期預金	53	14	-40
その他	382	331	-51
貸倒引当金	-91	-92	-1

※2

のれん　海外たばこ資金生成単位	12,740	13,962	+1,222
のれん　加工食品資金生成単位	254	254	―

※3

商標権　海外たばこ事業	2,849	2,969	+121

（単位：億円）

	13年3月末	13年9月末	増減
流動負債	11,130	11,133	+4
営業債務及びその他の債務	3,127	2,890	-238
支払手形及び買掛金	1,735	1,669	-65
未払金	713	517	-196
その他	680	703	+24
社債及び借入金※4	443	2,002	+1,559
未払法人所得税等	857	834	-23
その他の金融負債※4	86	106	+20
引当金	53	47	-6
その他の流動負債※5	6,563	5,254	-1,309
売却目的で保有する非流動資産に直接関連する負債	1	1	+0
非流動負債	8,472	7,545	-926
社債及び借入金※4	2,704	1,620	-1,084
その他の金融負債※4	188	195	+7
退職給付に係る負債	3,426	3,558	+132
引当金	48	51	+3
その他の非流動負債※5	1,132	1,085	-47
繰延税金負債	973	1,036	+63
負債合計	19,601	18,679	-923
資本	18,924	22,333	+3,408
資本金	1,000	1,000	―
資本剰余金	7,364	7,364	+0
自己株式	-3,446	-3,446	+0
その他の資本の構成要素	-1,554	151	+1,705
利益剰余金	14,701	16,382	+1,681
非支配持分	859	881	+22
負債及び資本合計	38,526	41,011	+2,486

※4

社債及び借入金（その他の金融負債含む）（流動・非流動の計）	3,421	3,922	+501
デリバティブ負債	38	63	+25
短期借入金	238	347	+108
コマーシャル・ペーパー	―	―	―
1年内返済予定の長期借入金	205	13	-192
1年内償還予定の社債	―	1,642	+1,642
長期借入金	332	335	+3
社債	2,372	1,285	-1,087
その他	236	237	+1

※5

その他の負債（流動・非流動の計）	7,695	6,340	-1,356
未払たばこ税	2,858	2,580	-278
未払たばこ税特別税	145	75	-70
未払地方たばこ税	1,824	933	-891
未払消費税等	854	854	-0
従業員賞与	455	423	-31
従業員有給休暇債務	198	216	+18
その他	1,363	1,258	-104

2013年度 業績予想
(2013/10/31発表)

・IAS第19号の改定に伴い、2012 年度の財務報告ベース及び為替一定ベースについて遡及修正を行った数値を掲載しています。
・当該遡及修正による財務諸表への重要な影響はありません。

1.業績ハイライト

(単位:億円、%)

	2012年度 実績	2013年度 予想	増減	増減率
売上収益	21,202	23,680	+2,478	+11.7%
営業利益	5,322	6,320	+998	+18.7%
税引前利益	5,094	6,160	+1,066	+20.9%
当期利益	3,514	4,230	+716	+20.4%
親会社の所有者に帰属する当期利益	3,436	4,150	+714	+20.8%
基本的1株当たり利益(円)(注1)	181.07	228.34	+47.27	+26.1%
調整後EBITDA(注2)	6,220	7,380	+1,160	+18.7%
1株当たり配当金(円)	68.00	92.00	+24.00	+35.3%
連結配当性向(注3)	37.6%	40.3%	+2.7%pt	
親会社所有者帰属持分当期利益率(ROE)(注4)	20.0%	20.4%	+0.4%pt	

(参考)

	2012年度 実績	2013年度 予想	増減	増減率
全社 為替一定ベース 調整後EBITDA(注5)	6,220	6,600	+380	+6.1%

(注1):親会社の所有者に帰属する当期利益を基に算定

(注2):調整後EBITDA=営業利益+有形固定資産の減価償却費+無形資産の償却費±調整項目(収益及び費用)*
*調整項目(収益及び費用) =のれんの減損損失 ± リストラクチャリング収益及び費用等

(注3):連結配当性向=1株当たり配当金/基本的1株当たり利益

(注4):親会社所有者帰属持分当期利益率(ROE)=親会社の所有者に帰属する当期利益と、親会社の所有者に帰属する資本を基に算出

(注5):12年度は実績値、13年度予想は海外たばこ事業について12年度と同じ現地通貨及び円の対ドルレートを使用した場合の全社調整後EBITDA

2.売上収益の内訳

(単位:億円、%)

		2012年度 実績	2013年度 予想	増減	増減率
売上収益		21,202	23,680	+2,478	+11.7%
	国内たばこ事業	6,871	7,030	+159	+2.3%
	自社たばこ製品売上収益(注1)	6,540	6,690	+150	+2.3%
	海外たばこ事業(注2)	10,107	12,450	+2,343	+23.2%
	自社たばこ製品売上収益(注3)	9,431	11,780	+2,349	+24.9%
	医薬事業	532	585	+53	+10.0%
	飲料事業	1,855	1,870	+15	+0.8%
	加工食品事業	1,687	1,590	-97	- 5.8%
	その他の売上収益	150	140	-10	- 6.8%

(参考 ドルベース)

(単位:百万ドル、%)

	2012年度 実績	2013年度 予想	増減	増減率
海外たばこ事業 自社たばこ製品売上収益(注2)(注3)	11,817	12,150	+333	+2.8%
海外たばこ事業 為替一定ベース 自社たばこ製品売上収益(注2)(注3)(注4)	11,655	12,250	+595	+5.1%

(注1):国内たばこ事業の輸入たばこ配送手数料収益等を控除

(注2):海外たばこ事業は、1-12月期の実績、予想

(注3):海外たばこ事業の物流事業、製造受託等を除き、水たばこの売上を含む

(注4):為替一定ベースの指標は、当年の実績を前年の為替レートに基づき算出し直したものです。2013年において、大幅な為替変動、通貨価値下落、インフレが生じている市場の実績(もしくは見込)は、財務報告ベースおよび為替一定ベースの指標とも、実績為替レート(見込の場合は、想定為替レート)に基づいて算出しております。同様の方法で、当該市場における2012年の為替一定ベースの実績についても算出し直しています。ただし、為替一定ベースの実績については追加的に提供しているものであり、国際会計基準(IFRS)に基づく財務報告に代わるものではありません。

3.事業セグメント別営業利益及び調整後EBITDA(注1)

(単位:億円、%)

		2012年度 実績	2013年度 予想	増減	増減率
全社 営業利益		5,322	6,320	+998	+18.7%
	国内たばこ 営業利益	2,413	2,460	+47	+2.0%
	海外たばこ 営業利益(注2)	2,894	3,730	+836	+28.9%
	医薬 営業利益	-162	-145	+17	-
	飲料 営業利益	23	5	-18	- 78.7%
	加工食品 営業利益	-58	20	+78	-
	その他/消去 営業利益	212	245	+33	+15.8%
全社 調整後EBITDA(注1)		6,220	7,380	+1,160	+18.7%
	国内たばこ 調整後EBITDA(注1)	2,813	2,910	+97	+3.4%
	海外たばこ 調整後EBITDA(注1)(注2)	3,432	4,490	+1,058	+30.8%
	医薬 調整後EBITDA(注1)	-127	-110	+17	-
	飲料 調整後EBITDA(注1)	124	105	-19	- 15.4%
	加工食品 調整後EBITDA(注1)	74	95	+21	+29.1%
	その他/消去 調整後EBITDA(注1)	-96	-105	-9	-

(参考 ドルベース)

(単位:百万ドル、%)

	2012年度 実績	2013年度 予想	増減	増減率
海外たばこ事業 調整後EBITDA(注1)(注2)	4,300	4,630	+330	+7.7%
海外たばこ事業 為替一定ベース 調整後EBITDA(注1)(注2)(注3)	4,145	4,630	+485	+11.7%

(注1):調整後EBITDA=営業利益+有形固定資産の減価償却費+無形資産の償却費±調整項目(収益及び費用)*
*調整項目(収益及び費用) =のれんの減損損失 ± リストラクチャリング収益及び費用等

(注2):海外たばこ事業は、1-12月期の実績、予想

(注3):為替一定ベースの指標は、当年の実績を前年の為替レートに基づき算出し直したものです。2013年において、大幅な為替変動、通貨価値下落、インフレが生じている市場の実績(もしくは見込)は、財務報告ベースおよび為替一定ベースの指標とも、実績為替レート(見込の場合は、想定為替レート)に基づいて算出しております。同様の方法で、当該市場における2012年の為替一定ベースの実績についても算出し直しています。ただし、為替一定ベースの実績については追加的に提供しているものであり、国際会計基準(IFRS)に基づく財務報告に代わるものではありません。

4.連結キャッシュ・フローデータ

(単位:億円、%)

	2012年度 実績	2013年度 予想	増減	増減率
FCF(億円)(注)	3,160	2,800	-360	-11.4%

(注):FCF=営業活動キャッシュフロー+投資活動キャッシュフロー ただし以下の項目を除外
営業活動キャッシュフローから利息及び配当金の受取額とその税影響額/利息の支払額とその税影響額
投資活動キャッシュフローから、事業投資以外に係る、投資の取得による支出/投資の売却及び償還による収入/定期預金の預入による支出/定期預金の払出による収入/その他

5.資本的支出

(単位:億円、%)

		2012年度 実績	2013年度 予想	増減	増減率
資本的支出		1,374	1,890	+516	+37.5%
	国内たばこ事業	712	630	-82	-11.6%
	海外たばこ事業(注)	375	900	+525	+140.0%
	医薬事業	58	40	-18	-30.6%
	飲料事業	120	120	-0	-0.2%
	加工食品事業	46	80	+34	+74.1%
	その他/全社・消去	63	120	+57	+89.8%

(注):海外たばこ事業は、1-12月期の実績、予想

6.業績予想の主な前提条件

国内たばこ事業	2012年度 実績	2013年度 予想	増減	増減率	
JT販売数量(注)	1,162	1,190	+28	+2.4%	億本

(注):JT販売数量には国内免税販売分及び中国事業部分を含まない。

海外たばこ事業(注1)	2012年度 実績	2013年度 予想	増減	増減率	
総販売数量(注2)	4,365	4,170	-195	- 4.5%	億本
GFB販売数量	2,688	2,650	-38	- 1.4%	億本
円/USドルレート	79.81	97.00	+17.19	17.7%安	円
RUB/USドルレート	31.07	31.96	+0.89	2.8%安	RUB
GBP/USドルレート	0.63	0.65	+0.02	2.9%安	GBP
EUR/USドルレート	0.78	0.76	-0.02	2.4%高	EUR
CHF/USドルレート	0.94	0.93	-0.01	0.8%高	CHF
TWD/USドルレート	29.57	29.82	+0.25	0.8%安	TWD

(注1):海外たばこ事業は、1-12月期の実績、予想

(注2):水たばこ/受託製造を除き、Fine cut/ Cigar/Pipe/Snus込み

2013年度 業績予想
（2013/10/31発表）

1.業績ハイライト

（単位：億円、%）

	2013年度 前回予想	2013年度 今回予想	増減	増減率
売上収益	23,680	23,680	―	―
営業利益	6,160	6,320	+160	+2.6%
税引前利益	5,980	6,160	+180	+3.0%
当期利益	4,230	4,230	―	―
親会社の所有者に帰属する当期利益	4,150	4,150	―	―
基本的1株当たり利益(円)(注1)	228.34	228.34	―	―
調整後EBITDA(注2)	7,300	7,380	+80	+1.1%
1株当たり配当金(円)	92.00	92.00	―	―
連結配当性向(注3)	40.3%	40.3%	―	-
親会社所有者帰属持分当期利益率(ROE)(注4)	20.4%	20.4%	―	-

（参考）

	2013年度 前回予想	2013年度 今回予想	増減	増減率
全社 為替一定ベース 調整後EBITDA(注5)	6,600	6,600	―	―

（注1）：親会社の所有者に帰属する当期利益を基に算定

（注2）：調整後EBITDA＝営業利益＋有形固定資産の減価償却費＋無形資産の償却費±調整項目（収益及び費用）*
*調整項目（収益及び費用） ＝のれんの減損損失 ± リストラクチャリング収益及び費用等

（注3）：連結配当性向＝1株当たり配当金／基本的1株当たり利益

（注4）：親会社所有者帰属持分当期利益率（ROE）＝親会社の所有者に帰属する当期利益と、親会社の所有者に帰属する資本を基に算出

（注5）：海外たばこ事業について12年度と同じ現地通貨及び円の対ドルレートを使用した場合の全社調整後EBITDA

2.売上収益の内訳

（単位：億円、%）

	2013年度 前回予想	2013年度 今回予想	増減	増減率
売上収益	23,680	23,680	―	―
国内たばこ事業	7,030	7,030	―	―
自社たばこ製品売上収益(注1)	6,690	6,690	―	―
海外たばこ事業(注2)	12,440	12,450	+10	+0.1%
自社たばこ製品売上収益(注3)	11,820	11,780	-40	- 0.3%
医薬事業	595	585	-10	- 1.7%
飲料事業	1,870	1,870	―	―
加工食品事業	1,590	1,590	―	―
その他の売上収益	140	140	―	―

（参考 ドルベース）

（単位：百万ドル、%）

	2013年度 前回予想	2013年度 今回予想	増減	増減率
海外たばこ事業 自社たばこ製品売上収益(注2)(注3)	12,450	12,150	-300	- 2.4%
海外たばこ事業 為替一定ベース 自社たばこ製品売上収益(注2)(注3)(注4)	12,550	12,250	-300	- 2.4%

(注1)：国内たばこ事業の輸入たばこ配送手数料収益等を控除

(注2)：海外たばこ事業は、1-12月期の予想

(注3)：海外たばこ事業の物流事業、製造受託等を除き、水たばこの売上を含む

(注4)：為替一定ベースの指標は、当年の実績を前年の為替レートに基づき算出し直したものです。2013年において、大幅な為替変動、通貨価値下落、インフレが生じている市場の実績（もしくは見込）は、財務報告ベースおよび為替一定ベースの指標とも、実績為替レート（見込の場合は、想定為替レート）に基づいて算出しております。同様の方法で、当該市場における2012年の為替一定ベースの実績についても算出し直しています。ただし、為替一定ベースの実績については追加的に提供しているものであり、国際会計基準（IFRS）に基づく財務報告に代わるものではありません。

3.事業セグメント別営業利益及び調整後EBITDA(注1)

（単位：億円、%）

	2013年度 前回予想	2013年度 今回予想	増減	増減率
全社 営業利益	6,160	6,320	+160	+2.6%
国内たばこ 営業利益	2,460	2,460	―	―
海外たばこ 営業利益(注2)	3,750	3,730	-20	- 0.5%
医薬 営業利益	-140	-145	-5	―
飲料 営業利益	5	5	―	―
加工食品 営業利益	20	20	―	―
その他/消去 営業利益	60	245	+185	+308.3%
全社 調整後EBITDA(注1)	7,300	7,380	+80	+1.1%
国内たばこ 調整後EBITDA(注1)	2,910	2,910	―	―
海外たばこ 調整後EBITDA(注1)(注2)	4,400	4,490	+90	+2.0%
医薬 調整後EBITDA(注1)	-105	-110	-5	―
飲料 調整後EBITDA(注1)	105	105	―	―
加工食品 調整後EBITDA(注1)	95	95	―	―
その他/消去 調整後EBITDA(注1)	-105	-105	―	―

（参考 ドルベース）

（単位：百万ドル、%）

	2013年度 前回予想	2013年度 今回予想	増減	増減率
海外たばこ事業 調整後EBITDA(注1)(注2)	4,630	4,630	―	―
海外たばこ事業 為替一定ベース 調整後EBITDA(注1)(注2)(注3)	4,630	4,630	―	―

（注1）：調整後EBITDA＝営業利益＋有形固定資産の減価償却費＋無形資産の償却費±調整項目（収益及び費用）*
*調整項目（収益及び費用） ＝のれんの減損損失 ± リストラクチャリング収益及び費用等

（注2）：海外たばこ事業は、1-12月期の予想

（注3）：為替一定ベースの指標は、当年の実績を前年の為替レートに基づき算出し直したものです。2013年において、大幅な為替変動、通貨価値下落、インフレが生じている市場の実績（もしくは見込）は、財務報告ベースおよび為替一定ベースの指標とも、実績為替レート（見込の場合は、想定為替レート）に基づいて算出しております。同様の方法で、当該市場における2012年の為替一定ベースの実績についても算出し直しています。ただし、為替一定ベースの実績については追加的に提供しているものであり、国際会計基準（IFRS）に基づく財務報告に代わるものではありません。

4.連結キャッシュ・フローデータ

（単位：億円、%）

	2013年度 前回予想	2013年度 今回予想	増減	増減率
FCF(億円)(注)	2,800	2,800	―	―

（注）：FCF＝営業活動キャッシュフロー＋投資活動キャッシュフロー ただし以下の項目を除外
営業活動キャッシュフローから利息及び配当金の受取額とその税影響額/利息の支払額とその税影響額
投資活動キャッシュフローから、事業投資以外に係る、投資の取得による支出/投資の売却及び償還による収入/定期預金の預入による支出/定期預金の払出による収入/その他

5.資本的支出

（単位：億円、%）

	2013年度 前回予想	2013年度 今回予想	増減	増減率
資本的支出	1,950	1,890	-60	-3.1%
国内たばこ事業	630	630	―	―
海外たばこ事業(注)	940	900	-40	-4.3%
医薬事業	40	40	―	―
飲料事業	120	120	―	―
加工食品事業	80	80	―	―
その他/全社・消去	140	120	-20	-14.3%

（注）：海外たばこ事業は、1-12月期の予想

6.業績予想の主な前提条件

国内たばこ事業	2013年度 前回予想	2013年度 今回予想	増減	増減率	
JT販売数量(注)	1,190	1,190	―	―	億本

（注）：JT販売数量には国内免税販売分及び中国事業部分を含まない。

海外たばこ事業(注1)	2013年度 前回予想	2013年度 今回予想	増減	増減率	
販売数量(注2)	4,320	4,170	-150	- 3.5%	億本
GFB販売数量	2,730	2,650	-80	- 2.9%	億本
円/USドルレート	95.00	97.00	+2.00	2.1%安	円
RUB/USドルレート	31.00	31.96	+0.96	3.0%安	RUB
GBP/USドルレート	0.66	0.65	-0.01	1.5%高	GBP
EUR/USドルレート	0.80	0.76	-0.04	5.3%高	EUR
CHF/USドルレート	0.96	0.93	-0.03	3.2%高	CHF
TWD/USドルレート	29.71	29.82	+0.11	0.4%安	TWD

（注1）：海外たばこ事業は、1-12月期の予想

（注2）：水たばこ/受託製造を除き、Fine cut/ Cigar/Pipe/Snus込み

国内JT製品データ集

（注）: 表中の数値には中国、香港、マカオ市場および国内免税市場販売分は含まれておりません。

国内たばこ事業関連係数

1. 四半期別販売数量

（単位:億本）

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2011年度	184	325	300	275	1,084
2012年度	294	302	298	268	1,162
2013年度	293	303			

2. 四半期別定価代金

（単位:億円）

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2011年度	3,736	6,625	6,100	5,603	22,065
2012年度	5,967	6,129	6,052	5,442	23,589
2013年度	5,933	6,141			

（注）: 販売定価代金 ＝ 販売数量 × 小売定価

3. 四半期別千本当税抜売上高 / 千本当売上収益

（単位:円）

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2011年度	5,444	5,516	5,509	5,515	5,502
2012年度	5,508	5,505	5,499	5,498	5,503
2013年度	5,491	5,485			

（注）: 本項目では、販売定価代金から販売店マージン、消費税を差し引いたものを売上高としております。
千本当税抜売上高/千本当売上収益＝｛販売定価代金－販売店マージン－消費税－たばこ税（国税）
－たばこ税（地方税）－たばこ特別税（国税）｝／ 販売数量 ×1,000

4. 四半期別シェア

（単位:%）

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2011年度	40.8	59.3	58.7	59.2	54.9
2012年度	59.4	59.7	59.6	59.5	59.6
2013年度	60.5	60.7			

伸張セグメントシェア

1. 四半期別タール1mgセグメントシェア

①JT タール1mg製品市場シェア （単位:%）

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2011年度	9.8	14.1	14.1	14.3	13.2
2012年度	14.4	14.2	14.3	14.4	14.3
2013年度	14.7	14.7			

②1mg市場シェア （単位:%）

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2011年度	24.7	23.9	24.1	24.4	24.3
2012年度	24.5	24.2	24.4	24.5	24.4
2013年度	24.5	24.5			

③セグメント内シェア （単位:%）

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2011年度	39.6	58.8	58.5	58.7	54.2
2012年度	58.8	58.7	58.6	58.8	58.7
2013年度	60.0	59.9			

2. 四半期別メンソールセグメントシェア

①JT メンソール製品市場シェア （単位:%）

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2011年度	3.2	6.3	6.6	6.9	5.8
2012年度	7.5	7.6	7.4	7.7	7.6
2013年度	8.3	8.8			

②メンソール市場シェア （単位:%）

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2011年度	26.1	24.2	25.1	25.0	25.1
2012年度	25.6	25.7	25.6	26.2	25.8
2013年度	26.3	26.3			

③セグメント内シェア （単位:%）

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2011年度	12.4	26.2	26.4	27.5	23.2
2012年度	29.3	29.4	28.9	29.6	29.3
2013年度	31.6	33.4			

3. 四半期別440円以上製品セグメントシェア

①JT 440円以上製品市場シェア （単位:%）

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2011年度	8.1	15.1	14.9	14.8	13.4
2012年度	14.7	14.8	14.5	14.5	14.6
2013年度	14.5	14.4			

②440円以上市場シェア （単位:%）

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2011年度	37.6	36.4	37.0	36.6	36.9
2012年度	36.6	36.9	39.5	36.6	36.7
2013年度	36.1	35.9			

③セグメント内シェア （単位:%）

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2011年度	21.5	41.3	40.2	40.4	36.2
2012年度	40.1	40.2	36.7	39.7	39.9
2013年度	40.1	40.1			

医薬事業 臨床開発品目一覧 （2013年10月31日現在）

＜自社開発品＞

開発番号 （一般名）	想定する 適応症/剤形	作用機序		開発段階	備考
JTK-303 (elvitegravir)	HIV感染症 /経口	インテグラーゼ阻害	HIV（ヒト免疫不全ウイルス）の増殖に関わる酵素であるインテグラーゼの働きを阻害する	**単剤** 国内：申請準備中	自社品
				新規配合錠 （elvitegravir/cobicistat/emtricitabine/tenofovir alafenamide） 国内：Phase3 国際共同治験*	Elvitegravirは自社品 他3成分は導入品 (Gilead Sciences社)
JTT-751 （クエン酸第二鉄水和物）	高リン血症 /経口	リン吸着剤	消化管内で食物から遊離するリンを吸着することで、リンの体内吸収を抑える	国内：申請中	導入品 （Keryx Biopharmaceuticals社） 鳥居薬品と共同開発
JTT-851	2型糖尿病 /経口	GPR40作動	グルコース依存的にインスリン分泌を促進し、高血糖を是正する	国内：Phase2 海外：Phase2	自社品
JTZ-951	腎性貧血 /経口	HIF-PHD阻害	HIF-PHDを阻害することにより、造血刺激ホルモンであるエリスロポエチンの産生を促し、赤血球を増加させる	国内：Phase2 海外：Phase1	自社品
JTE-051	自己免疫・アレルギー疾患 /経口	ITK阻害	免疫反応に関与しているT細胞を活性化するシグナルを阻害し、過剰な免疫反応を抑制する	海外：Phase1	自社品
JTE-052	自己免疫・アレルギー疾患 /経口	JAK阻害	免疫活性化シグナルに関与しているJAKを阻害し、過剰な免疫反応を抑制する	国内：Phase1	自社品
JTE-151	自己免疫・アレルギー疾患 /経口	RORγアンタゴニスト	Th17細胞の活性化に中心的な役割を担うRORγを阻害し、過剰な免疫反応を抑制する	海外：Phase1	自社品
JTE-350 ** （ヒスタミン二塩酸塩）	アレルギー皮膚テスト実施時の陽性コントロール/注射剤	ヒスタミン受容体アゴニスト	皮内のヒスタミン受容体に作用し、検査部位の皮膚に膨疹および発赤反応を誘発させる	国内：Phase3	導入品 （ALK社） 鳥居薬品と共同開発

(注)開発段階の表記は投薬開始を基準とする
*Gilead Sciences社の国際共同治験に参画

**厚生労働省主催の「医療上の必要性の高い未承認薬・適応外薬検討会議」において開発企業の募集が行われた品目

＜導出品＞

一般名等 （当社開発番号）	導出先	作用機序		備考
elvitegravir （JTK-303）	Gilead Sciences社	インテグラーゼ阻害	HIV（ヒト免疫不全ウイルス）の増殖に関わる酵素であるインテグラーゼの働きを阻害する	（適応：HIV感染症） **単剤** 米国・欧州 申請中 **新規配合錠** （elvitegravir/cobicistat/emtricitabine/tenofovir alafenamide） Phase3
trametinib	GlaxoSmithKline社	MEK阻害	細胞増殖シグナル伝達経路に存在するリン酸化酵素MEKの働きを阻害することにより、細胞増殖を抑制する	(適応：メラノーマ） 欧州 申請中 （適応：メラノーマ dabrafenib併用） 米国・欧州 申請中
抗ICOS抗体	MedImmune社	ICOSアンタゴニスト	T細胞の活性化に関与しているICOSの働きを阻害し、免疫反応を抑制する	

前回公表時（2013年7月30日）からの変更点

＜自社開発品＞
・JTZ-951 国内臨床試験Phase1からPhase2へ移行
・JTE-350 新規臨床入り（国内Phase3）